

# 決算に係る主要な施策の成果

平成20年度

伊勢市

# 目 次

## 一 般 会 計

議 会 費 .....	1
総 務 費 .....	2
民 生 費 .....	17
衛 生 費 .....	32
労 働 費 .....	43
農 林 水 産 業 費 .....	45
商 工 費 .....	54
観 光 費 .....	56
土 木 費 .....	61
消 防 費 .....	74
教 育 費 .....	78
災 害 復 旧 費 .....	96
公 債 費 .....	97
国民健康保険特別会計 .....	98
老人保健医療特別会計 .....	101
後期高齢者医療特別会計 .....	102
介護保険特別会計 .....	103

# 主要な施策の成果

## 【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予算現額 363,941 千円  
 決算額 357,891 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				357,891

### 議会事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 政務調査費	7,650	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	133
2. 議会広報経費	9,971	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動について市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配付した。 年間発行 4回 ○市議会放映 市議会活動について市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をCATVで録画放映した。会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放映。 本会議放映 1日2回 延べ23日 予算・決算特別委員会放映 1日2回 延べ10日 ○会議録検索システムインターネット配信 市議会本会議の会議録をインターネットを通じて配信し、情報公開の充実を図った。	133

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 2,425,478 千円  
 決算額 2,410,553 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
147	7,932		13,673	2,388,801

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	194	新たな定員管理計画の策定、補助金等の適正化、伊勢市行財政改革大綱実施計画の進行管理を行い、行財政改革を推進した。	135

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域内分権推進経費	2,489	「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、各小学校区に「地区担当職員」を配置し、地域自らのまちづくりを支援するとともにその取り組みに対する地域住民の理解促進と気運の醸成を図った。また、ふるさと未来づくり推進計画を検証するためモデル地区を選定した。さらに地域リーダー養成のための研修会や市民の自治意識の啓発のための講演会を開催した。	135

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 3,855 千円  
 決算額 3,619 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			416	3,203

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	2,590	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数14回 受講者数 833名 ②一般研修(人材育成カレッジ) 研修数49回 受講者数 1,014名 ③派遣研修 研修数59回 受講者数 141名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 66.3% 一般研修 63.9% 派遣研修 85.6% ②意識向上度 研修全体 56.7% 一般研修 52.1% 派遣研修 93.8%	137

2. 人事考課制度構築 事業	1,029	人事考課制度の構築と定着を目指し、人事考課制度マニユアルをもとに、目標管理制度の研修と指導を行い、職員への理解を浸透させた。また、新たに取り組む能力・職務態度考課について、部長級～係長級の職員に対し産業能率大学講師による研修を行い、部長級の試行を開始した。 (1) 目標管理制度研修(新任者) 実績 4回 計50名 (2) 能力・職務態度考課研修(部長級～係長級職員) 実績 2回 計267名	137
----------------------	-------	--	-----

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 43,499 千円  
決算額 40,800 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				40,800

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行事業	18,624	「広報いせ」(毎月1日発行)と「伊勢市おしらせ版」(毎月15日発行)を定期的に発行し、市政の方針や事業計画の概要、市の行事予定などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	139
2. CATV広報いせ 放送事業	16,198	地域に根ざした行政情報番組「伊勢市テレビ広報『みてきて伊勢』」(約30分)を制作し放送した。 行政情報だけでなく、市民活動センターやセンター登録団体からの情報をお知らせする「市民活動ニュース」や、市民が参加した行事やできごとを伝える「まちの話題」を放送した。 また、特別番組として、「ふるさと未来づくり～市長との意見交換会～」 「宮川プロジェクト活動報告会2008」の様子を放送した。	139
3. ケーブルテレビ加入 促進事業補助金	3,460	ケーブルテレビの加入促進を目的に、新たにケーブルテレビに加入する市民に、ケーブルテレビ加入促進補助金を交付した。 交付金額 宅内工事費 3,460,000円(個人 5,000円×692件)	139
4. 各種相談事業	2,281	市民からの多様な相談に対応するため、法律・行政・交通事故・多重債務などの市民相談を実施した。 法律相談については、毎週月曜日に実施し、利用者は379人(1日平均7.4人)であった。	139

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 362,748 千円  
 決算額 360,947 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,830	7,000			337,117

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 住民情報システム 管理経費	222,855	住民基本台帳、税、国保、及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの賃貸借、保守管理、及び各業務に係る計算処理や帳票出力処理等の業務を委託し、事務の迅速化と効率化を図った。	頁 139
2. 行政情報システム 管理経費	114,101	全庁で利用する財務会計・文書総合管理・グループウェア等、内部情報系システムの賃貸借及び保守管理を行った。また、各種システムの一元的な運用を図ることで、情報共有・事務効率の向上及び維持管理経費の削減を図るために、リース期間の満了に合わせて、各システムの一括更新を行った。 L G W A N (総合行政ネットワーク) 提供設備について、機器の保守可能期間満了に伴い、公的個人認証や後期高齢者システム等への影響を最小限に抑えるため、機器の更新を行い同ネットワークシステムの安定稼動を維持した。	139
3. ITセキュリティ 対策事業	11,938	旧式の処理能力が低いクライアントパソコンを最新機種に置き換え、事務処理効率の向上を図った。また、ウイルス対策ソフトを最新のバージョンに更新し、ウイルスに対するセキュリティレベル確保に努めた。	141

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 企画費

(単位 千円)

予算現額 5,506 千円  
 決算額 4,409 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			330	4,079

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 総合計画推進事業	1,799	<p>平成20年～24年を計画期間とする「みんなのまちの計画（伊勢市総合計画）」の実現を目指し、必要となる取り組みの検討・実践、及び実現状況の確認を行った。</p> <p>(1) 伊勢市まちづくり市民会議の運営（分科会・運営委員会の開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分科会活動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①自治と行政のしくみ 開催19回：延べ参加者 176人</li> <li>②人権・教育・文化 開催12回：延べ参加者 108人</li> <li>③環境 開催12回：延べ参加者 127人</li> <li>④生活・健康・福祉 開催 6回：延べ参加者 75人</li> <li>⑤防災・防犯 開催 8回：延べ参加者 103人</li> <li>⑥産業 開催 8回：延べ参加者 72人</li> </ul> </li> <li>・「みんなのまちの計画」発表会                      計画の発表と実現に向けた方策などについての意見交換を行った。                      と き：平成20年6月21日                      ところ：ハートプラザみその 多目的ホール 他                      参加者：まちづくり市民会議会員・一般市民(約200名)</li> <li>(2) 「みんなのまちの計画」の印刷                      計画内容の周知を図るため、計画書を印刷し、関係機関等に配布した。                      印刷部数：みんなのまちの計画（伊勢市総合計画）1,800部</li> <li>(3) 市民アンケート                      計画に定める指標の現状の値を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を行った。                      期 間：平成20年12月9日～平成21年1月14日                      対象者：市内在住の15歳以上の方から無作為抽出4,000名（1,000名×4種類）                      調査票：                      「生活・健康・福祉」、「防災・防犯＋交流都市基盤」                      「人権・教育・文化＋環境」、「自治と行政のしくみ＋産業」</li> <li>(4) 行政活動報告書「伊勢のまち 伊勢の行政」                      市の社会状況や市政運営の状況について、わかりやすく市民に紹介する資料として「行政活動報告書」を発行した。</li> </ul>	頁 141
2. 宮川流域連携事業負担金	700	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流域情報誌「RiverVoice 清流宮川応援新聞」の発行（流域市町全戸配布）</li> <li>・宮川流域子ども川サミットの開催</li> <li>・宮川流域いつせいチェックの実施</li> <li>・清流宮川フォトコンテストの開催</li> <li>・宮川流域案内人等支援事業（案内人養成講座、活動支援、流域内外への情報発信）</li> </ul>	141

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 10. 市史編さん事業推進費

(単位 千円)

予算現額 38,590 千円  
 決算額 21,515 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,127	20,388

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市史編さん事業	21,515	各専門部会の編集方針や調査計画に基づき、委員等により史料調査、執筆活動等を行い、市史各編の編さんに向けての作業を推進した。	頁 141

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 11. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 1,980 千円  
 決算額 1,851 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	253			1,598

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 情報紙発行事業	678	男女共同参画に関して、広く市民に情報発信するため、公募市民5人の企画編集による情報紙「れいんぼう」を9月と3月の2回、発行し、市内各戸に配布した。	頁 143
2. 男女共同参画推進都市事業	1,134	1 男女共同参画推進事業委託 「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現をめざした取組を行った。なお、企画運営については、公募市民12人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」と協働を行った。 (1) パートナーの日の啓発事業 ①啓発用ティッシュの配布 ②ピーター・フランクル講演会の開催 入場者数 300人 (2) 市民ワークショップの開催 参加者数 延べ44人 (3) 男の料理教室、男女ペアによる料理&おしゃれ教室の開催 参加者数 延べ37人 (4) 生活講座の開催 ①自分らしく生きるための生活講座 参加者数 26人 ②心と体のリフレッシュ講座 参加者数 31人 (5) 企業訪問の実施 2 男女共同参画審議会の開催 男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について審議した。 開催回数 2回 3 人材育成講座の開催 参加者数 延べ56人	143

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 15. 財政管理費

(単位 千円)

予算現額 11,256 千円  
 決算額 10,817 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			58	10,759

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地方公営企業等金融機構出資金	9,900	平成20年10月1日に発足した地方公営企業等金融機構に対して出資金を支出した。 地方公営企業等金融機構の資本金については、地方公共団体が全額出資することと法定されており、各地方公共団体に対し示された割当て額どおり出資した。 なお、従来の公営企業金融公庫は、地方公営企業等金融機構が承継する形で同日廃止された。	145

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 16. 基金管理費

(単位 千円)

予算現額 117,396 千円  
 決算額 114,901 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	675		77,930	36,296

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ふるさと創生基金	35,000	平成20年度国2次補正対応として、平成21年度に実施する、CATV広報伊勢放送事業、地域自治推進事業、広域連携事業の財源に充当するため、地域活性化・生活対策臨時交付金をふるさと創生基金に積み立てた。	145

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 176,733 千円  
 決算額 160,167 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
111			360	159,696

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	1,213	庁舎内書架等転倒防止工事 近年、東海地震を始め東南海地震、南海地震等地震に対する対策が進められおり、本庁舎内事務室の書棚等についても地震の時に倒れて人命に影響がでないように固定した。	147

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 124,996 千円  
 決算額 123,202 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	619		41,068	81,515

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市民活動促進事業	16,015	新しい市政の担い手である市民をはじめ、NPO、ボランティア団体の協力を得ながら、市民参画による協働のまちづくりを目指した。市民活動センターの第三期の指定管理者を特定非営利活動法人コンビニネットに選定した。	頁 149
2. コミュニティ助成事業補助金	40,700	(財) 自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会に補助金を交付した。交付決定団体は26自治会	149
3. 元気なまちづくり協働事業補助金	7,632	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。交付決定団体は129自治会	149
4. 活性化活動事業補助金	1,473	市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が行う、元気で活気溢れる地域づくりを支援するため、旧小侯町で平成16年度から補助制度の運用を開始した。申請団体数16団体、交付決定団体数15団体	149
5. いせ市民活動センター施設整備事業	1,644	いせ市民活動センター駐車場の舗装が老朽化に伴い傷みが激しくなっているため、安全性等を考え舗装工事を実施した(175㎡)。	149

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 136,970 千円  
 決算額 136,894 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				136,894

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地区連絡員事業	100,286	行政と地域のパイプ役として地区連絡員(172人)を設置し、行政情報等の伝達を行った。 (1)市の広報紙、おしらせ版等の配付(各月1回) (2)その他市長が特に必要と認める職務	頁 151
2. 区長謝礼事業	7,190	市内172自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	151
3. 振興助成金事業	26,901	地域における自治活動を支援・推進するため市内172自治会に助成金を交付した。	151

4. 総連合自治会運営 補助金	1,430	伊勢市総連合自治会に加盟する162自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	151
-----------------------	-------	---	-----

### 二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	187	自治区集会所の建設を助け、自治区振興を図るため、補助を行った。 拡声放送施設設備費補助金 松下区 22,000円、9,000円 溝口区 38,000円 今一色区 8,000円 集会所修繕費補助金 山田原区 110,000円	151

### 小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	900	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、集会所施設の維持補修・修繕、電気使用料に対して補助を行った。 ・維持補修・修繕 1件 73千円 ・電気使用料(1/2補助) 25件 826千円	151

### (款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 10,329 千円  
決算額 9,875 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,654	5,221

### 市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	685	○外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」の中国語版の翻訳を行った。 ○伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供、講演会・交流会の開催及びボランティア活動の推進に努めた。また他団体とも協力し、国際交流のまちづくりを推進した。	151
2. 豪州中学生交流事業	9,190	伊勢市在住の中学3年生24人をオーストラリア・ゴールドコースト市へ派遣し、ホームステイや現地学校での語学研修・交流授業等を体験することで、外国の生活や文化の違い等を学び、国際的な視野を広めた。	151

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 23. コミュニティセンター費

(単位 千円)

予算現額 194,750 千円  
 決算額 107,741 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,397		69,300	5,794	19,250

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 四郷地区コミュニティセンター新築事業	94,582	支所機能および図書室、会議室、防災倉庫等を併設し、地域住民に安心・安全・快適に利用してもらえ、地域コミュニティの醸成に役立ててもらえる施設として四郷地区に建設した。	頁 151

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 今一色地区コミュニティセンター新築事業	5,099	標高が低く海に面している今一色地区の災害時の緊急避難施設建設の要望を受け、同地区出身者の寄付金を基金とした財源を基に、防災設備を備えたコミュニティセンター建設事業を計画した。 ・今一色コミュニティセンター新築工事に伴う地質調査業務委託 2,306千円 ・今一色コミュニティセンター新築工事設計業務委託 2,730千円 ・確認申請手数料 63千円	頁 151

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 25. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 37,907 千円  
 決算額 36,267 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				36,267

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 防犯啓発事業	3,905	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催                      各自治会・老人会を対象に地域安全講習会を精力的に開催して、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。平成20年度の講習会開催状況は、次のとおりである。                      平成20年度 26回 1,114名参加</p> <p>○全国地域安全運動期間中の啓発活動                      ・地域安全展の開催                      伊勢市民おおまつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設けて、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。                      共催 伊勢度会地区生活安全協会                      伊勢市防犯推進協議会                      日時 平成20年10月5日(日)                      内容                      ・ 似顔絵                      ・ 白バイと記念撮影                      ・ 「いかのおすし」チラシと子ども用グッズのセットの配布                      ・ 防犯機器等の展示                      ・ その他啓発用品の配布</p>	頁 153
2. 防犯灯設置等補助金	22,306	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。</p> <p>・防犯灯新設 66地区(158箇所)                      ・防犯灯修繕 134地区                      ・防犯灯電気代 152地区</p>	153

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 26. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 133,734 千円  
 決算額 116,086 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	53,781		15,843	46,462

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 交通安全啓発事業	3,115	(1) 伊勢市交通安全都市推進協議会により、児童をはじめとする市民の交通安全意識の高揚を図った。 ①伊勢市児童交通安全図画ポスター展の協力 ②夜光反射材等の啓発物品の購入配布 (2) 伊勢・度会地区交通安全対策協議会により、広域的な見地から交通事故のない社会づくりを図った。 ①交通安全教室の開催 ②シルバー・サポート隊活動	頁 155
2. 放置自転車対策事業	1,666	駅周辺の長期放置(機能喪失)自転車等の整理撤去を行い、美観の確保及び駐輪場利用者の利便性の確保を図った。	155
3. 交通安全活動推進補助金	1,400	交通安全活動推進団体への補助金交付により、各団体の活動の充実を図り、交通事故のない地域社会の実現に寄与した。	155
4. コミュニティバス運行事業	80,837	地域住民との検討会や、学識者・運行事業者等との地域公共交通会議を開催し、平成20年4月より、一部ダイヤ・ルートを改正し、コミュニティバスの運行をした。 また、新たな運行方式の導入についても、有効性を検証し、より効果的・効率的な公共交通サービスを提供するための検討を行った。	155
5. 路線バス運行維持事業	11,445	市民の身近な交通手段を確保するため、運行业者の損失分を市が負担し、路線バスの運行を維持した。	155

<p>6. 伊勢地域観光交通対策推進事業</p>	<p>5,000</p>	<p>平成17年8月に発足した「伊勢地域観光交通対策協議会」で、伊勢地域周辺における交通対策の検討及び実施を行った。</p> <p>(1) パーク&amp;バスライド サンアリーナ臨時駐車場～外宮・内宮・二見浦間にシャトルバスを運行させ、正月時期における外宮・内宮・二見浦周辺の交通渋滞の解消・緩和を図った。</p> <p>(2) パーク&amp;バスライドによる社会実験 サンアリーナ臨時駐車場～内宮間にシャトルバスを運行させ、正月時期の次の混雑期におけるパーク&amp;バスライドの有効性等を検討した。</p> <p>(3) 初参り交通対策 外宮・内宮・二見浦周辺の初参り交通対策として、来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。</p> <p>(4) ゴールデンウィーク交通対策 ゴールデンウィーク期間中の内宮周辺交通対策として、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。</p> <p>(5) 国道23号3車線化による社会実験 現況2車線(片側1車線)であった国道23号の宇治浦田町交差点～内宮前の区間において、内宮行方向の車線を2車線に増やすことで、駐車目的の車両と通過交通(公共交通、地元車両など)を区分し、同区間の渋滞緩和などの効果を検証している。</p> <p>(6) その他 土日祝日の内宮周辺交通渋滞対策として、宇治浦田町交差点に警備員を配置し、車両誘導を行った。 また、3連休等の混雑期には、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。</p>	<p>155</p>
--------------------------	--------------	--	------------

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 30. 定額給付金事業費

(単位 千円)

予算現額 2,162,395 千円  
決算額 359 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
359				

定額給付金対策室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. 定額給付金交付事業</p>	<p>359</p>	<p>景気後退下での住民の不安に対処するため、住民の生活支援を行うとともに、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資するため、定額給付金の給付を行うべく準備を行った。</p>	<p>155</p>

(款) 2. 総務費 (項) 2. 地域振興費 (目) 1. 振興開発費

(単位 千円)

予算現額 254,177 千円  
 決算額 100,059 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		91,300	4,849	3,910

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 企業立地推進事業	1,157	産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、情報収集などを実施した。	頁 157
2. まつり博跡地企業誘致基盤整備事業	96,149	地域の活性化を目的とし、「サン・サポート・スクエア伊勢」を、より魅力のある企業誘致用地とするため、基盤整備事業を実施した。	157

(款) 2. 総務費 (項) 2. 地域振興費 (目) 2. 辺地対策事業費

(単位 千円)

予算現額 60,582 千円  
 決算額 58,001 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		50,600	7,303	98

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 携帯電話基地局設置事業	58,001	矢持町における携帯電話の利用を携帯電話事業者3社と市との共同施工により、携帯電話基地局を設置し、利用可能とすることにより地域住民の生命・財産を守り、併せて地域振興を図った。	頁 157

(款) 2. 総務費 (項) 3. 徴税费 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 113,460 千円  
 決算額 112,439 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,511	109,928

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	36,094	適正・公平な課税を行うため、以下の業務を行い、その経費を支出した。 ○土地鑑定評価時点修正業務 10,159千円 平成21年度評価替え用に決定した鑑定評価額を、地価下落等に伴う変動を反映させ現状に則した価格とするための時点修正。 ○固定資産土地評価及び地番図家屋図修正業務 25,746千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込み。 ○家屋評価システム運用保守 189千円 家屋評価システムの安定稼働維持のためのソフトウェア保守委託。	159
2. 電子申告運用事業	23,664	平成21年10月から開始される個人住民税の公的年金からの特別徴収制度導入に必要なシステム改修、電子申告制度導入及び運用を行うため、その経費を支出した。	159

収税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	5,859	収納窓口を拡大し、納税者の利便性の向上を図るため、軽自動車税のコンビニ収納を実施した。 コンビニ収納 8,975件 納付額 46,213,100円 収納代行業者手数料 549,805円 電話回線使用料 63,985円 平成21年度から、市県民税(普通徴収分)、固定資産税・都市計画税においてもコンビニ収納を利用可能とするため、それに必要な電算システムの改修と収納代行業者との長期委託契約を締結した。 電算システム改修業務等委託料 5,145,000円 収納代行業務委託契約 平成23年度まで	159
2. 徴収管理一般経費	32,558	高額滞納者等の整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、徴収率の向上を図った。 移管件数 60件 移管総額 47,337,800円 負担金 15,123,000円 内訳：均等割額 100,000円 処理件数割額 170,000円×60件 徴収実績割額 4,823,000円 (前々年度徴収実績の10%) 口座振替の推進を図るため、金融機関報奨金制度を設け、金融機関へ新規の口座振替に対し、報奨金を支払った。(150円/件) 実績 1,437件 215,550円	159

(款) 2. 総務費 (項) 7. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 30,891 千円  
 決算額 30,802 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				30,802

監査委員事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 工事等技術調査委託経費	54	随時監査として工事監査を2件実施した。監査の執行にあたっては、専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。	頁 167

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,235,463 千円  
 決算額 1,221,040 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,705	313,324		29,093	819,918

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高額療養費資金貸付事業	791	高額療養費の支給を受けるまでの間、支払に必要な資金を貸付けることにより、当該世帯の生活の安定を図った。 ・貸付件数 4件	169

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 福祉ボランティア育成事業負担金	8,433	ボランティア活動事業を推進するため、伊勢市社会福祉協議会が実施するボランティアコーディネーターの配置等福祉ボランティア育成事業に対し支援し、地域住民の福祉ニーズに応じたボランティア団体活動への支援、育成の拡充を図った。	167
2. 民生委員協議会補助金	11,448	各地区民生委員・児童委員の研修活動及び地域住民における要保護者や老人・母子家庭・身体障がい者などの生活実態を把握するとともに、適切な相談・助言・指導などの福祉活動を行った。	167
3. ふれあいのまちづくり事業補助金	5,996	地域にふさわしい福祉サービスを推進していくため、伊勢市社会福祉協議会が実施する事業に対し補助し、相談事業の充実や社会福祉施設との連携、民生委員・市民ボランティアなど様々な人々が交流して住民が共に支え合う地域社会づくりを図った。	167
4. 地域福祉計画策定事業	4,669	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し、市民の意見を反映させた地域福祉計画を策定するため、策定推進委員会を立ち上げ、市民アンケート及び地域懇談会等を実施した。 (平成21年度策定予定)	169
5. 婦人相談員設置事業	2,212	婦人相談員を設置し、女性の福祉全般にわたる人権尊重と生活の安全と自立を支援し、女性の福祉向上を図った。 (平成20年度実績) 相談件数 実人員69人 延べ349件	169

二見総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	13,332	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	169

**小俣総合支所 福祉健康課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター 等管理事業	1,392	地域の老人をはじめとする住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設で、小俣町商工会、度会教育会館とで合同会館の施設維持管理にあたった。	169
2. 保健福祉会館管理 事業	12,275	小俣管内を6地区に分け各々に保健福祉会館を設置し、地域の老人をはじめとする住民の健康増進・教養の向上及びレクリエーション等の場とした。	169

**御菌総合支所 福祉健康課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ハートプラザみそ の等管理事業	24,853	地域の福祉活動、健康増進、文化・教養の高揚など市民の活動拠点施設として利用された。 年間利用者延人数 56,127人	169

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 1,297,928 千円  
 決算額 1,229,935 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
564,179	297,130		37,203	331,423

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 障害者地域生活支援事業	61,595	<p>障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、地域生活支援事業を実施した。</p> <p>1. 障害者地域生活相談支援事業                      高柳商店街に設置されている障害者相談支援センターの運営を社会福祉法人へ委託し、訪問、来所、電話等により相談を受け付け、福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を行った。                      委託先 社会福祉法人三重済美学院</p> <p>2. 日常生活用具給付事業                      在宅の重度心身障がい者（児）等に対し、特殊ベッド、入浴補助用具等を給付することなどにより、日常生活の安定を図った。                      給付件数 1,867件</p> <p>3. 身体障害者情報保障事業                      (1) 手話通訳設置事業                      手話通訳者を窓口に設置する事により、コミュニケーションがスムーズになり、聴覚障がいのある方の社会参加の促進を図った。                      窓口対応件数 162件                      (2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業                      意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣する事により、聴覚障がいのある方の社会参加の向上を図った。                      手話通訳者派遣件数 53件                      要約筆記者派遣件数 33件                      (3) 手話通訳者養成事業                      手話通訳のできる人を増加することにより、手話通訳者派遣事業の充実を図った。                      手話通訳者養成講座応用課程4名受講                      (4) 手話奉仕員養成事業                      手話のできる人を増加することにより、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図った。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの）                      手話奉仕員養成講座基礎課程20名受講                      (5) 点字広報・声の広報発行事業                      広報を点字及び朗読することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。                      (6) 要約筆記奉仕員養成事業                      要約筆記通訳のできる人を増加することにより、要約筆記者派遣事業の充実を図った。                      要約筆記奉仕員養成講座パソコンコース9名受講</p> <p>4. 知的障害者職親委託事業                      知的障がいのある人を、事業の経営者のもとで自活に必要な生活指導及び技能習得訓練等を行い、雇用の促進と職場における定着性を高めた。                      委託者数 6人</p>	頁 169

2. 障害者外出支援事業	5,521	1. 重度障害者タクシー料金助成 在宅の重度障がい者に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 タクシー券利用枚数 8,022枚 2. 重度身体障害者リフトタクシー助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 593枚	169
3. 障害者生活環境等整備事業	1,090	1. 重度心身障害者住宅改造補助金 重度心身障がい者（児）のいる世帯を対象に、当該障がい者の在宅生活を維持するための住宅改造に補助金を交付し、住宅環境の整備を図った。 補助件数 3件 2. 福祉電話基本料負担 1回線	169
4. 障害者福祉運営対策経費	109,655	1. 身体障害者デイサービス事業 在宅生活を送る身体障がい者が社会適応訓練や創作活動等を行うデイサービス事業の運営を社会福祉協議会へ委託した。 (1) 身体障害者福祉センターデイサービス運営費 (パソコン教室等) 実利用人数 65人 利用回数 1,227回 (2) 重度身体障害者デイサービス運営費（くじら） 実利用人数 21人 利用回数 2,531回 給食 2,468回 入浴 326回 2. 身体障害者福祉センター運営委託事業 身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。 3. 障害者自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 助成団体 11団体	169
5. 障害者保健福祉計画策定事業	3,009	「伊勢市障害者保健福祉計画」を策定するにあたり、ヒアリング調査、パブリックコメントを実施し、成果品を作成した。	169
6. 障害者啓発事業	129	12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。	169
7. 障害者手当等給付事業	57,469	在宅で重度の障がいのある人などに対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。	169
8. 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業	18,309	通所サービス利用促進事業 障がいのある人が、新体系の日中活動サービス事業所及び旧体系の通所施設が行う送迎サービスを利用する場合、利用者1人につき片道540円、1事業所あたり年間300万円を上限額とし、その送迎に要する費用を助成した。	171
9. 障害者通所等支援事業	4,128	通所訓練施設等通所者の障害者自立支援法に基づく利用者負担金の一部を助成することで、福祉サービスの利用を促進し、障がい者福祉の推進を図った。	171

10. 障害者小規模作業 所対策事業	77,954	1. 小規模授産所運営事業 在宅の障がいのある人の社会的自立と社会参加を促進するため、小規模作業所の運営を委託又は補助を行い、福祉の増進を図った。 2. 小規模作業所施設整備事業費補助金 在宅の障がいのある人の社会参加を促進するため、小規模作業所の施設整備を行う者に対し補助金を交付し、地域社会における社会適応や作業訓練等の場の確保を図った。 3. 小規模作業所入所負担金 市外の小規模作業所へ通所する障がいのある人について、その入所経費を設置する市町へ負担することにより福祉の増進を図った。	171
11. 障害者介護給付等 事業	823,786	障害福祉サービスの利用について、介護給付費及び訓練等給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	171
12. 障害程度区分認定 審査会対策事業	5,384	障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービスの支給決定に必要な認定調査員による訪問調査等を実施した。 また、障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を通じ、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。 (1) 調査件数 187件 (2) 審査会判定件数 127件	171
13. 補装具費支給事業	19,536	失われた身体機能を補うための補装具費（購入及び修理）の支給を行い、日常生活や社会生活の向上を図った。 購入及び修理延べ件数 265件 (内訳 交付160件 修理105件)	171
14. 身体障害者医療給 付事業	42,370	身体障害者の障がいを軽減したり取り除くなど、身体障害者の更生に必要な医療費の軽減を図った。 診療延べ件数 387件	171

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 653,775 千円  
決算額 640,212 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	261,780			378,432

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 心身障害者医療費 支給事業	237,997	身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費等を助成した。 また、平成20年9月より、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費の助成を開始した。 1 医療費等の助成 228,854千円 (1) 延人数 19,308人 (2) 延件数 48,776件 2 証明書料の助成 9,143千円 (うち郵送料 535) (1) 延件数 43,040件	171

2. 65歳以上心身障害者医療費支給事業	154,998	<p>後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費等を助成した。</p> <p>また、平成20年9月より、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費の助成を開始した。</p> <p>1 医療費等の助成 154,998千円  (1) 延人数 19,648人  (2) 延件数 53,300件</p>	171
3. 乳幼児医療費支給事業	140,069	<p>義務教育就学前までの乳幼児で、受給資格のある方に対して医療費等を助成した。</p> <p>また、平成20年9月より、4~6歳の通院医療費及び小学生の入院医療費の助成を開始した。</p> <p>1 医療費等の助成 126,179千円  (1) 延人数 35,516人  (2) 延件数 71,761件  2 証明書料の助成 13,890千円  (1) 延件数 69,449件</p>	171
4. 一人親家庭等医療費支給事業	69,393	<p>母(父)子家庭の親及び子、または父母のいない子で、受給資格のある方に対して医療費等を助成した。</p> <p>1 医療費等の助成 64,215千円  (1) 延人数 14,168人  (2) 延件数 26,918件  2 証明書料の助成 5,178千円  (1) 延件数 25,888件</p>	171
5. 寡婦医療費支給事業	25	<p>配偶者と死別し、かつて20歳未満の者を扶養していた、現在婚姻状態にない60歳以上70歳未満の女性で、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。</p> <p>1 医療費の助成 24千円  (1) 延人数 6人  (2) 延件数 6件  2 証明書料の助成 1千円  (1) 延件数 6件</p>	171

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 36,539 千円  
決算額 36,231 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			16,736	19,495

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. おおぞら児童園運営事業	10,759	<p>障がいをもつ児童に通園による機能回復訓練・言語訓練・音楽療養・療育指導等を行い、その育成を図った。</p> <p>発達療育 延べ 829人  言語訓練 延べ 400人  感覚運動遊び 延べ 892人  相談 延べ 123人</p>	173
2. おおぞら児童園管理事業	2,573	<p>おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。</p>	173

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,327,274 千円  
 決算額 3,306,105 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,554	142,840	338,000	68,132	2,698,579

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 老人福祉施設等建設補助金	58,554	介護保険事業計画の配置構想を実現するために行う高齢者福祉施設の面的整備と整備推進に係る事業を実施する事業者に対して補助を行った。 補助件数 3件 (うち繰越明許分1件)	頁 175

長寿課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 生きがい活動支援通所事業	8,900	在宅の高齢者で、介護保険で「自立」と認定された高齢者、又は自立とみなされる虚弱な高齢者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	頁 173
2. 在宅介護支援事業	6,307	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行った。	173
3. 外出支援サービス事業	5,101	65歳以上のねたきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両(リフト付タクシー等)の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。	173
4. 緊急通報体制等整備事業	13,277	65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者等に対し緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	175
5. 老人乗合バス運賃助成事業	20,143	75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券(100円×40枚の回数券)を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。 交付者数 9,411人	175
6. 老人クラブ補助金	12,827	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。また、伊勢市老人クラブ連合会が行う健康づくり事業に対し助成を行った。 単位老人クラブ助成金 8,509千円 単位老人クラブ重点配分予算分 455千円 伊勢市老人クラブ連合会助成金 3,383千円 健康づくり事業 480千円	175

7. 敬老金支給事業	11,634	市内に在住する77歳、88歳、99歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老金を贈呈した。 77歳 5,000円 1,449人 88歳 10,000円 398人 99歳 10,000円 29人	175
8. 老人ホーム入所措置事業	226,959	おおむね65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。 延べ措置人員 養護老人ホーム 1,563人	175
9. 万亀会館施設整備補助金	363,732	平成19年8月、伊勢市より移管された社会福祉法人が、施設の老朽化に伴う改築に係る経費に対して補助等を行った。	175

### 小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営事業	3,336	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会(6館)において計画する事業の実施、及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	175

### (款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 404,910 千円  
決算額 312,626 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
26,740	38,566		15,507	231,813

### こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	過疎地域の利便を図り、児童送迎に対する地域格差を解消するため、社会福祉法人一宇郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	177
2. 家庭相談員設置事業	2,154	福祉事務所に家庭児童相談室を設置し、家庭相談員(常勤嘱託)を配置して、家庭における児童養育に関する種々の問題についての相談・指導を行った。 平成20年度相談受理件数:80件	177
3. 子育て支援短期利用事業	287	出産、病気等の緊急一時的な理由があるとき、児童養護施設で児童を保護し、経済的理由等で一時的に保護が必要となった母子を母子生活支援施設で保護するため、3施設で事業を実施した。 延べ利用日数 38日	177
4. 乳幼児健康支援一時預り事業	10,360	病気回復期にある児童を集団保育が困難である間、専用スペースで預かることにより保護者の子育てと就業の両立支援を行った。 延べ利用人数 325人	177

5. ファミリーサポートセンター事業	7,680	児童福祉の向上と、保護者の仕事と家庭の両立支援を目的として、会員相互の信頼と了解の上で、一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営の充実を図った。 年度末会員数 412人 活動件数 2,484件	177
6. 次世代育成支援対策事業	2,471	伊勢市次世代育成支援対策推進協議会の開催を行った。 第1回開催 平成20年11月6日 第2回開催 平成20年12月22日 第3回開催 平成21年3月25日	177
7. 放課後児童対策事業	32,359	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均利用児童数 265人	177
8. 放課後児童クラブ設備整備補助金	900	放課後児童クラブの開設に伴い、その活動に要する遊具、図書及びロッカー等を整備するための経費を助成することにより、放課後児童クラブの円滑な運営と児童の健全育成の向上を図った。 対象箇所数 3箇所	177
9. 一般保育事業補助金	44,641	公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所に対し補助した。 民間保育所 14箇所	177
10. 低年齢児保育推進事業補助金	3,483	0・1歳児にゆとりのある保育を実施することにより、児童の心身の発育発達を一層促すため、延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、0・1歳児が定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上入所している保育所で、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 5箇所 対象児童 延べ738人	177
11. 延長保育促進事業補助金	36,585	通常の保育時間を超えて長時間保育（9時間以上）を実施している保育所に対して、職員の加配及び処遇改善を図るために要する経費を補助した。 民間保育所 13箇所 うち国交付金対象（11時間以上）4箇所	177
12. 地域活動事業補助金	3,441	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所 14箇所	177
13. 障害児保育事業補助金	11,700	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている保育所で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所 9箇所 対象児童 (中度) 6人 (重度) 6人	177
14. 休日保育事業補助金	693	日曜・祝日等に保育を行う民間保育所に対して、その事業経費を補助した。 民間保育所 1箇所	177

15. 民間保育所施設整備事業費補助金	7,796	児童を安全かつ快適に保育するため、民間保育所が行う施設整備に対し補助を行った。 民間保育所 1箇所	177
16. 児童虐待防止事業	260	児童虐待の未然防止及び早期発見・早期対応をめざし、「伊勢市子ども家庭支援ネットワーク」（要保護児童対策地域協議会）を設置して関係機関の連携強化を図った。また、市民への意識啓発活動を行った。	177

**二見総合支所 福祉健康課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 放課後児童対策事業	13,300	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 93人	177

**小俣総合支所 福祉健康課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 放課後児童対策事業	24,342	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 117人	177

**御菌総合支所 福祉健康課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 放課後児童対策事業	11,860	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 82人	177

**(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費**

(単位 千円)

予算現額 1,918,620 千円  
決算額 1,911,276 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
713,688	390,664		260,887	546,037

**こども課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 児童手当支給事業	935,460	12歳到達後最初の3月31日までの間にある児童を監護し、かつ定められた所得以下である者に児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。 ・被用者児童手当 255,230千円 ・非被用者児童手当 67,670千円 ・特例給付児童手当 5,080千円 ・被用者小学校修了前特例給付 460,745千円 ・非被用者小学校修了前特例給付 146,735千円	179

2. 児童入所施設措置 事業	12,304	○母子生活支援施設入所経費 18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉にかける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。 利用世帯及び入所期間 7世帯 平成20年4月～平成21年3月 ○助産施設入所経費 保健上助けが必要であるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置し、保健の向上を図った。 利用件数 1件	179
3. 民間保育所児童保 育事業	963,512	民間保育所運営費を支弁した。 (国庫負担金基準による) 民間保育所 14箇所 延べ児童数 14,846人	179

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 509,002 千円  
決算額 507,426 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
169,299				338,127

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 母子自立支援員事 業	2,196	母子自立支援員を設置し、母子家庭等及び寡婦の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行うとともに母子寡婦福祉資金貸付に係る業務を行った。 相談件数 384件 貸付利用件数 6件	179
2. 母子福祉事業補助 金	154	母子家庭及び寡婦の生活の安定と向上を図るため、団体が実施する母子家庭の生活支援及び自立支援等の事業の費用を補助を行った。 補助団体数 1件	179
3. 自立支援教育訓練 給付金事業	29	雇用保険制度の教育訓練講座を受講した母子家庭の母に対し、講座終了後に、受講料の一部を助成した。 助成件数 2件	179
4. 児童扶養手当支給 事業	504,762	父親と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、受給者に対し児童扶養手当を支給した。 受給者数 1,081人 全額支給停止者 179人 (平成21年3月31日現在)	179

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,554,604 千円  
 決算額 1,528,172 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,212	19,786		319,644	1,186,530

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 臨時保育士等経費	288,092	正規職員の不足を臨時職員等で補った。 ・嘱託保育士 82人 ・嘱託看護師 15人 ・臨時調理員 12人 ・臨時業務員 15人 ・パート保育士 7人	頁 179
2. 入所児童処遇経費	144,224	公立保育所の入所児童の健全な育成と円滑な保育所運営を図った。 市立保育所 14箇所・延べ 17,792人	179
3. 低年齢児保育推進事業	4,165	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上0・1歳児が入所している保育所において0・1歳児に対して国の基準を超えて保育士を配置した。 市立保育所 2箇所・対象児童 延べ508人	179
4. 保育所地域活動事業	2,411	公立保育所全施設において、地域住民が主体的に子育てに関われるようにし、多世代の交流を促進した。 市立保育所 13箇所	179
5. 地域子育て支援センター事業	38,158	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、明倫保育所 二見浦保育園 ※平成20年10月より実施	179
6. 障害児保育事業	57,705	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士を加配した。 市立保育所 11箇所 対象児童 (中度) 17人 (重度) 12人	179
7. 産休等代替職員経費	2,338	産休等職員の代替職員を配置した。 代替職員 5人	179
8. 延長保育促進事業	7,699	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所	179
9. 家庭支援推進保育事業	9,108	対象児童が6人以上または定員の20%以上入所する保育所で、保育士を加配し、指導計画の作成や家庭訪問を実施するなどにより家庭に対する指導を行った。 市立保育所 2箇所	181

10. 休日保育事業	2,841	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所	181
11. 一時保育促進事業	4,700	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 市立保育所 1箇所	181
12. 市立保育所施設維持補修経費	6,861	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を維持補修し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	181
13. 研修等参加経費	173	市立保育所職員の資質向上を図るため、各種研修を受講した。 三重県保育総合研修会 東海北陸保育研究大会 北信越・東海地区主任保育士研修会	181
14. 市立保育所管理運営経費	56,152	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を運営管理し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	181
15. 市立保育所施設整備事業	11,775	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。 しらとり園空調設備改修工事 あさま保育所空調設備改修工事 二見浦保育園子育て支援室設置工事 さくらぎ保育所遊具設置工事 浜郷保育所外壁塗替え工事 あさま保育所浄化槽配管改修工事 五峰保育園テラス設置工事	181

### 小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域子育て支援センター事業	9,414	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 小俣子育て支援センター	179
2. 一時保育促進事業	4,694	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 小俣子育て支援センター	181

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 5. 児童館費

(単位 千円)

予算現額 51,049 千円  
 決算額 49,334 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,385			37,949

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童館管理運営事業	7,514	遊びを通じた交流により他者とのかかわり方を学び、また遊びの中での助言指導を行うことにより児童の健全育成を図った。 対象施設数 1館 (中央児童センター) 年間利用延人数 21,653人	181
2. 地域児童館管理運営事業	17,821	児童センターを利用する児童に遊びや運動等の指導を行い、児童の健全育成を推進した。 対象施設数 2館 (あさま・黒瀬児童センター) 年間利用延人数 8,259人	181
3. 民間児童館運営事業補助金	10,403	児童の健全育成を図るため、民間児童館運営が円滑に行われるよう助成した。 対象施設数 1館 (明照児童館) 年間利用延人数 15,648人	181

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童館管理運営事業	8,786	遊びを通じた交流により他者とのかかわり方を学び、また遊びの中での助言指導を行うことにより児童の健全育成を図った。 対象施設数 2館 (小俣、明野児童館) 年間利用延人数 7,530人	181

御菌総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童館管理運営事業	4,810	遊びを通じた交流により他者とのかかわり方を学び、また遊びの中での助言指導を行うことにより児童の健全育成を図った。 対象施設数 1館 (こども広場) 年間利用延人数 6,432人	181

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 73,551 千円  
 決算額 71,766 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
193	26,843			44,730

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 人権施策推進事業	1,270	伊勢市人権施策推進協議会の事業として、人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、市内小中学校の児童生徒を対象とした人権尊重啓発ポスター募集事業や人権セミナーの開催など、市民の人権意識の高揚に努めた。	頁 183

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 604,314 千円  
 決算額 595,616 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
46,661	50,672		14,094	484,189

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	43,958	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 641千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 43,194千円(実績割100%) 建設経費 123千円	187
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	192,066	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,611千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 176,075千円(実績割100%) 建設経費 10,290千円(平等割10%人口割90%) 公債費 3,090千円(元利補給金)	187
3. 生活排水対策啓発事業	888	各家庭における生活排水対策の啓発活動の推進により、市民の生活排水対策意識の高揚と公共用水域の水質保全を図った。	187
4. 狂犬病予防事業	621	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 652頭 狂犬病予防注射受付件数 6,028頭	187
5. 環境審議会経費	260	伊勢市環境基本計画の策定にあたり、新たな課題や社会情勢等の動向を考慮の上で、環境保全について提言いただいた。 平成20年度審議会委員14人、審議会開催数6回	187
6. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	150,240	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及を図った。 公共下水道認可区域外 376基 144,066千円 公共下水道認可区域内 51基 6,174千円	187
7. 地域新エネルギービジョン策定推進事業	5,702	平成20年度に策定した伊勢市地域新エネルギービジョンにおいて重点事業と位置付けた、生ごみ等食品残渣の資源化を検討した。	187
8. 家庭用新エネルギー普及推進事業	5,300	新エネルギーの導入促進および普及啓発のため、家庭用新エネルギーシステム設備設置者に対し補助金を交付した。 平成20年度実績 太陽光発電設備 13件 太陽光発電設備+C02冷媒ヒートポンプ給湯器 22件 太陽光発電設備+家庭用ガスエンジン給湯器 1件	187

9. 高麗広地区飲料水 浄化施設等設置補 助金	600	上水道施設のない高麗広地区での良質で安全な飲料水確保のため、自家用井戸や浄水施設等設置者に対し補助金を交付した。 平成20年度補助件数 2件	189
10. 放置自動車対策経 費	18	伊勢市放置自動車の発生の防止及び適正処理に関する条例に基づき、市道、公園等の放置自動車を適正に処分した。 平成20年度処分台数 2台	189
11. 犬猫不妊手術費等 補助金	1,874	犬猫の適正飼育を図るため、市の要綱に基づき不妊手術費の一部助成を行った。 平成20年度補助件数 犬181匹 猫396匹	189
12. 環境リサイクル フェア等開催事業	425	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市民の理解と協力を得るため、各種イベントを開催した。 11月2日 環境リサイクルフェア 開催場所 朝熊町県営サンアリーナ 主催 伊勢市ごみ問題市民会議 伊勢市河川海域環境美化推進協議会 伊勢市（環境課・資源循環課）	189
13. 各種計画策定事業	4,300	旧4市町村の生活排水対策を尊重しつつ、近年の社会状況の変化を踏まえ、新市における生活排水処理のあり方を明確にするため、「伊勢市生活排水対策推進計画」を策定した。	189

### 小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	8,448	地域住民の福祉の充実及び向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行い、毎月4回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成20年度利用者数 48,635人	187

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 671,274 千円  
 決算額 667,182 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	626		25,387	641,169

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一次救急医療事業	4,338	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。 また、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)を市の主要18施設に設置するとともに、市民が参加するイベントなどで活用できるよう貸出用も配備し、小児パッドも追加装備した。	189
2. 病院群輪番制病院運営費補助金	31,044	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(市立伊勢総合病院、山田赤十字病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成20年度は18,312人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	189
3. 健康文化都市推進事業	1,329	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。また、健康づくり条例を制定し、健康文化週間及び健康の日の啓発事業や、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとしてウォーキング大会等を実施した。	189

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 190,486 千円  
 決算額 184,252 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,692			180,560

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	184,218	全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。	189

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 200,310 千円  
 決算額 194,419 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,773		1,893	188,753

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	3,501	40歳以上の保険が無い方を対象に健康増進法健康診査を実施し、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	191
2. がん検診事業	183,123	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	191
3. 歯周疾患検診事業	5,861	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,165人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	191
4. 成人健康相談事業	628	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ133回、825人の相談を行った。	191
5. 訪問指導事業	527	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族559人に対し、生活習慣病の予防や介護予防、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	191

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 75,354 千円  
 決算額 73,563 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
543	250		362	72,408

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	470	妊婦及びその配偶者に対し、妊娠・分娩・子育てに関する知識の普及、夫の育児参加、親同士の仲間づくりを目的に開催した。夫婦参加の沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験などを実施し、健全な母性育成と子育て支援を図った。234人の参加があった。	191

2. 発達支援教室事業	1,748	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。826人の参加があった。	191
3. 幼児歯科保健事業	3,387	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室24回 833人 （中央保健センター12回、小保保健センター12回） ・3歳児フッ化物塗布18回 660人 （中央保健センター12回、小保保健センター6回）	191
4. 子育て相談事業	930	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域で開催し、延べ4,072人の参加があった。	191
5. 新生児等訪問指導事業	859	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じるにより、それぞれが持っている不安、悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児917人、乳幼児413人、妊産婦912人の訪問を実施した。	191
6. 妊婦・乳児健康診査事業	46,960	妊娠中に5回及び乳児期に2回（4ヶ月、10ヶ月）計7回、県下の医療機関に委託して、健康診査を実施した。妊婦は延べ5,539人、乳児は延べ2,074人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	191
7. 不妊治療費助成事業	6,185	医師が必要と認めた不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費に要する費用の一部助成（費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで）を行った。 一般不妊治療65件、特定不妊治療35件に助成を行った。	191

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 19,521 千円  
決算額 10,817 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,512	7,305

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 共同墓地整備事業補助金	6,398	共同墓地内の環境衛生の改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 平成20年度補助実績 12箇所	193

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 80,775 千円  
 決算額 75,927 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			72,120	3,807

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 医科診療所運営事業	69,882	休日・夜間応急診療所（内科・小児科）を開設し、夜間や休日における診療の不安を軽減し、市民の健康管理を図った。	頁 193
2. 歯科診療所運営事業	6,045	休日・夜間応急診療所を開設し、休日における診療の不安を軽減し、市民の健康管理を図った。	193

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 4,846 千円  
 決算額 3,636 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,636

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 調査事業	3,636	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、結果を広報等で周知した。	頁 195

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 1,080,850 千円  
 決算額 1,078,469 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			26,535	1,051,934

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金（ごみ）	976,936	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 共通経費 6,362千円 運営経費 428,977千円 建設経費 260,414千円 公債費 280,789千円 清掃事業所分担金 394千円	頁 195

2. きれいなまちづくり推進事業	662	伊勢市ごみ問題市民会議に、ごみ問題及びごみ減量・資源化対策活動の業務委託を行い、啓発活動を推進した。 ○名称 伊勢市ごみ問題市民会議 ○構成 委員26名、参与6名 ○設立 平成18年5月16日 ○内容 本部事業 ・伊勢市環境リサイクルフェアの開催 減量、資源化事業 ・ごみ分別、減量の指導、啓発の実施 環境美化事業 ・早朝清掃等の実施	195
3. 廃棄物集積所設置補助金	17,234	ごみの散乱防止及び良好な生活環境の確保、並びに美化意識の高揚を図ることとごみ回収場所の集約を目的にごみ集積所の補助事業を行った。 ○交付申請自治会数 34自治会 ○補助金交付基数 133基 ○補助金交付額 17,234千円 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	195
4. 不法投棄防止対策推進事業	1,082	不法投棄パトロール、警告看板等による不法投棄防止及び不法投棄された廃棄物の撤去、適正処理を行った。また、不法投棄に対して広域的に取り組むため、6市町で構成する伊勢地域不法投棄防止対策連絡会へ参加した。 (連絡会概要) ○名称 伊勢地域不法投棄防止対策連絡会 ○構成 6市町(会員)伊勢市、玉城町、南伊勢町、度会町、大紀町、明和町	195
5. 廃棄物減量等推進審議会経費	273	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき策定する一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の検討を行った。 審議会委員:13人 審議会開催回数:5回	195

### 小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	35	小俣町地域において「まちをきれいにする一斉運動」を、午前8時から1時間程度、各自治区を中心にポイ捨てされたゴミを一掃するため、また、地球環境美化の一環として落ちているゴミを拾うことによって、ゴミを捨てない・汚さない心を確認しあう日として実施をした。 日 時 平成20年11月16日(日) 実施場所 小俣町内一円 対 象 伊勢市小俣町内に住む市民 参加者 1,616名	195

### 御菌総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	55	ポイ捨ての禁止やごみの減量化及び資源化に対する住民の意識と地域の連帯感を高め、実践活動を促進するため、各自治会を中心に一斉清掃を実施した。 日 時 平成20年6月1日(日) 実施場所 御菌町内一円 対 象 伊勢市御菌町内に住む市民 参加者 約650名	195

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 106,411 千円  
 決算額 90,194 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			47,629	42,565

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 指定袋制度運営事業	48,066	ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみの指定ごみ袋制を実施した。 ○目的 1. 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 2. 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 3. 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化 ○指定袋種類 3種類 (大袋45%、中袋30%、小袋15%) ○材質等 【材質】高密度ポリエチレン製 【色】半透明 ○販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成21年3月31日現在、販売店登録数324店舗) ○販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格 大袋83円、中袋60円、小袋41円 (税別)	頁 197
2. ごみ減量・資源化推進事業	253	ごみの減量及び資源化を図るため、資源化推進事業として津村団地自治会に生ごみ処理機を貸与し、地域住民による生ごみ資源化の実証実験を行った。 ○生ごみ資源化実験事業 ・生ごみ投入量 3,444kg ・取出し堆肥量 702kg ・堆肥化率 20.39%	197
3. 再生資源回収推進事業	17,099	自治会、PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対して回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。 ・交付団体数 133団体 ・回収量 2,844t (内訳) 紙類2,745t、布類35t、缶類64t、びん11,061本 ※1kg当たり6円の奨励金 びんについては、1本当たり3円の奨励金	197
4. ごみ減量化容器設置補助金	4,901	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。 ○交付申請件数 200件 ○補助金交付基数 215基 ○補助率 購入額の1/2 (限度額30千円)	197

5. 資源回収ステーション推進事業	7,654	家庭から生じた資源物の保管困難な状況を解消し、ごみの減量・資源化を更に推進するために、早修資源回収ステーションを設置した。また、中島1丁目・柏町・常盤3丁目に地元自治会が管理運営を行う地域資源回収ステーション等を設置した。	197
6. ごみ減量・資源化事業一般経費	12,221	平成21年度からてんぷら油（廃食用油）の回収を全市に拡大し、再生利用を図るために回収容器等を購入した。	197

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 906,655 千円  
決算額 900,689 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		800	14,438	885,451

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 廃棄物投棄場管理一般事業	8,726	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行っている。又、廃棄物投棄場の維持管理のために地質及び地下水状況を明らかにすることと、水質観測のための水位観測孔を設置した。	197

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 清掃事業所改修事業	1,093	清掃事業所は昭和50年に建設後、30年以上が経過しており、著しく老朽化している。安全衛生上支障があるため年次的に改修・修繕等を行っている。平成20年度については、洗車場及び車両入口の舗装補修工事を行った。 ○改修箇所 洗車場及び車両入口（112.8㎡）	197
2. 再資源分別回収事業	87,924	ごみの減量・資源化のため、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙類等（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、紙パック、綿製品）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 ○ステーション設置状況 ・資源回収ステーション 約910箇所 ・ガラス類・陶磁器類回収場所 約400箇所 ・資源拠点回収ステーション 15箇所 （内訳）伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、北浜、宮本、沼木、大湊、東豊浜、いせトピア また、資源びん、紙類等の収集については、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた合理化事業計画（旧伊勢地区）に基づき、市内の2業者に収集運搬業務の委託を実施した。	197

二見総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	1,145	ごみの減量・資源化のため、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙類（新聞・雑誌類・段ボール・紙パック）、布製品ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、アルミ缶、廃食用油、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 ○ステーション設置状況 ・資源回収ステーション 34箇所	197
2. 廃棄物投棄場管理一般事業	402	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て施設の適正な処理を行った。 ○年間搬入量 6,600kg	197

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	13,414	ごみの減量・資源化のため、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙類（新聞・雑誌類・段ボール・紙パック）、綿製品、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、アルミ・スチール缶、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 ○ステーション設置状況 ・資源物拠点集積所 60箇所	197
2. 廃棄物投棄場管理一般事業	8,873	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理及びを廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。 また、旧廃棄物投棄場内の投棄物の分別処理を行い将来にわたり清潔で快適な生活環境づくりと、この用地を有効利用をしていくため、廃棄物を掘り起こし資源のリサイクル化を促進するため、トロンメルによるゴミ分別処理等を行った。 【平成20年度実績】 ○年間搬入量 180,590kg ○トロンメルによるゴミ分別処理 処理量 357.140m <sup>3</sup>	197

御菌総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	6,808	ごみの減量・資源化のため、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙類（新聞・雑誌類・段ボール・紙パック）、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 ○ステーション設置状況 ・資源物回収ステーション 15箇所 ・資源ビン、ガラス類、陶磁器類集積所 28箇所	197

<p>2. 廃棄物投棄場管理 一般事業</p>	<p>437</p>	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理を行った。 ○年間搬入量 186,080kg</p>	<p>197</p>
---------------------------------	------------	--	------------

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 130,792 千円  
 決算額 128,548 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,228			51,980	64,340

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援事業	1,250	若年求職者を対象にカウンセリングを含む就職個別相談を実施したほか、いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年無業者を支援するネットワークを構築するなど、若者の早期就職支援に努めた。	199
2. 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	25,512	(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。 この団体は、中小規模の事業所単独では実施が困難な福利厚生事業を提供することを目的として、平成11年4月に事業を開始した。主な事業は、慶弔給付などを行う生活安定事業、健康診断の斡旋・補助を行う健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催・提携施設の割引利用あっせん・各種チケットあっせんを行う余暇活動事業、教養文化講座の開催及び参加補助を行う自己啓発事業である。	199
3. 勤労者ふれあい事業	1,500	(社)伊勢志摩勤労者福祉協議会等と共催で、'08勤労者ゆとりフェスティバルを11月2日に県営サンアリーナを会場に開催した。 当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人が参加し、ゆとりと豊かさを実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	199
4. 高齢者労働能力活用事業費補助金	19,730	高齢化社会が急速に進むなかで、多様化する高齢者の就業ニーズに対応するため、臨時的、短期的な就業及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	199
5. 高齢者生活援助サービス事業費補助金	2,500	シルバー人材センターの会員が、高齢者・障害者及びその家族に対し、「伊勢市軽度生活援助事業」等の高齢者生活援助サービスを提供するにあたり、事業内容を検討する専門職員が必要となるため、これに係る人件費及び研修費・連絡調整などへの経費補助を行った。	199
6. サンライフ管理運営事業	6,008	勤労者を対象とした趣味づくり、健康づくり講座を開催することで、心身の健康保持、体力増強及び教養文化の向上に寄与するとともに、趣味づくり教室作品発表会を開催し、サンライフ伊勢の趣味づくり教室の活動を広く市民に周知・啓発した。 また、平成18年9月より指定管理者制度に移行した。	199
7. 労働福祉会館管理運営事業	16,869	伊勢市労働福祉会館を管理運営し、労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与した。 また、三重県伊勢庁舎の建替えに伴い、平成20年7月末で休館し、移転に備えて解体工事を実施した。	199
8. やすらぎ公園プール管理運営事業	9,898	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上に寄与した。	199

<p>9. 勤労者持家促進資金貸付金</p>	<p>33,900</p>	<p>市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。</p>	<p>199</p>
<p>10. 勤労者教育資金貸付金</p>	<p>10,910</p>	<p>市内に居住する勤労者とその扶養親族の教育資金について、東海労働金庫の貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで、勤労者の負担を緩和し、教育の充実を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。</p>	<p>199</p>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 242,151 千円  
 決算額 241,127 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2	241,125

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	33,640	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で財政負担した。	201

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 20,572 千円  
 決算額 18,772 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,254		22	16,496

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若い農業者育成確保推進事業	817	次代の担い手育成確保に資するため、小学生を対象とした田植え・稲刈り等を体験する農業体験学習会を開催した。また、農業高校生徒が講師を努め、親子で農業を体験する親子農業体験も実施した。	201
2. 農業経営基盤強化促進事業	274	優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。 認定農業者件数 104件 (平成21年3月末現在)	201
3. 農業近代化資金等利子補給補助金	1,055	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	203
4. 遊休農地活用事業	2,540	近隣農地へ悪影響を与えるなどの遊休農地を解消、活用するために、草刈り、耕起、菜種等の作付、堆肥散布を行い、景観形成や農地として再活用する取組を行った。	203
5. 農業やってみませんか事業	350	農業の担い手不足が深刻になる中で、より多くの意欲ある人材の発掘が必要であるため、セミナー及び農業技術習得講座を開催し、定年退職者等で野菜作りに興味がある方が、野菜栽培への理解を深める一助とした。	203
6. 生産調整推進対策事業	4,943	米穀の需給と価格の安定を図るため、地域水田農業ビジョンの実現に向け、生産調整実施状況の確認等を伊勢市水田農業推進協議会へ委託し、事業を推進した。	203
7. 農業振興地域整備促進経費	282	農業振興地域整備計画の適正な運用を図るため、農業諸情勢の変化、地域の土地利用の動向を踏まえ、地域の活性化に向けた適切で有効な土地利用との調整を図り、農用地の見直しを行った。	203

8. 農業振興補助金	5,506	生産者で組織する農協各部会が行う技術向上対策等の活動経費に対して補助金を交付し、経営の安定、効率化を支援し地域農業の活性化、持続的発展を図った。また、水稻以外の農産物の作付推進のため、資本整備を支援した。	203
9. 地産地消推進事業	488	地元食材を取り扱う店を「地産地消の店」と認定し、周知することで、地域の農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。また、学校給食記念日に地元農産物を提供し、地産地消を啓発した。	203
10. 特色ある農産物づくり支援事業	250	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	203
11. 産直市支援事業	1,197	新鮮で安全な農産物を消費者に提供し、消費者との交流による中心市街地の活性化及び地域農業の振興へ繋げるため、中心市街地での農業者団体による産直市施設の運営を支援した。	203

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 88,058 千円  
決算額 81,057 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,766		46,258	33,033

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	48,037	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 312日 ・来客人数 121,923人	203 頁
2. 伊勢市都市農山村交流促進施設維持管理経費	2,201	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 248日 ・来客人数 16,146人	203
3. 農地・水・環境保全向上対策事業	14,570	農業の持つ多面的機能の適正な発揮のため、農業者・非農業者の地域ぐるみでの保全向上活動を促進し、国・県と共に支援を行った。 活動実施組織 19組織	203
4. 管理体制整備強化支援事業補助金	1,928	国営で造成した土地改良施設(頭首工、揚水機、用水路等)に対する国の助成制度で、多面的機能の発揮及び高度化に対応した適切な管理体制整備のため、宮川用水受益市町1市4町が負担することにより管理強化を図った。	203

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,420 千円  
 決算額 3,420 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,420

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 松阪食肉公社施設維持管理対策補助金	3,412	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、主要株主により支援を行った。	頁 205

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 199,127 千円  
 決算額 196,378 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		92,400	4,157	99,821

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 土地改良事業補助金	65,270	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・21件	頁 205
2. 県営ため池整備事業負担金	15,156	県営ため池等整備事業負担金 ○大切戸地区 事業内容 堤体復旧工、樋管工、樋門工 事業期間 平成14年度～平成21年度 事業費 144,900千円 (工事費138,000 事務費6,900) 負担区分 工事費 国55% 県37% 市8% 事務費 国50% 県25% 市25% →伊勢市負担額 12,075,000円  ○戸部神地区 事業内容 土質調査、測量設計、用地買収補償一式 事業期間 平成20年度～平成24年度 事業費 15,225千円 (工事費14,500 事務費725) 負担区分 工事費 国50% 県30% 市20% 事務費 国50% 県25% 市25% →伊勢市負担額 3,081,000円	205

<p>3. 県営かんがい排水 事業負担金</p>	<p>41,404</p>	<p>県営かんがい排水事業負担金 ○宮川2工区 事業内容 用水路L=401.7m 事業期間 平成17年度～平成21年度 事業費 94,500千円(工事費90,000 事務費4,500) 負担区分 国50% 県25% 市町村15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市11.7% →伊勢市負担額 1,658,475円  ○宮川4工区 事業内容 幹線用水路L=352.6m 末端用水路L=5,491m 事業期間 平成18年度～平成24年度 事業費 202,335千円(工事費192,700 事務費9,635) 負担区分 幹線 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% 末端 国50% 県25% 市8.333% 御菌改16.667% →伊勢市負担額 22,431,000円  ○宮川4工区その2 事業内容 用水路L=4,743m 事業期間 平成19年度～平成25年度 事業費 115,500千円(工事費110,000 事務費5,500) 負担区分 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市99.938% →伊勢市負担額 17,314,259円</p>	<p>205</p>
<p>4. 経営体育成基盤整 備事業負担金</p>	<p>3,147</p>	<p>県営経営体育成基盤整備事業負担金 ○有田地区 事業内容 幹線用水路L=1360.6m 支線用水路L=1,243m 事業期間 平成17年度～平成22年度 事業費 210,000千円(工事費200,000 事務費10,000) 負担区分 ・幹線 工事費 国50% 県27.5% 市町12.5% 地元10% →受益面積割 伊勢市1.688% 事務費 国50% 県25% 市町15% 地元10% →受益面積割 伊勢市2.025% ・支線(宮川左岸第一土地改良区) 工事費 国50% 県27.5% 市町4.5% 地元18% →受益面積割 伊勢市0.054% 事務費 国50% 県25% 市町5% 地元18% →受益面積割 伊勢市0.06% →伊勢市負担額 2,944,677円  ○小俣地区 事業内容 農業農村整備事業実施計画書作成業務 事業期間 平成21年度 事業費 2,000千円 負担区分 国50% 県27.5% 市10.125% 小俣改12.375% →伊勢市負担額 202,500円</p>	<p>205</p>

<p>5. 県営ふるさと農道 整備事業負担金</p>	<p>35,855</p>	<p>県営ふるさと農道整備事業負担金 ○二見町松下地区 事業内容 橋台工 1基、橋脚工 1基、測量試験一式 事業期間 平成10年度～平成24年度 事業費 90,900千円(工事費90,000 事務費900) 負担区分 工事費 県 65% 市町村 35% 事務費 県 50% 市町村 50% →伊勢市負担額 31,950,000円  ○御園地区 事業内容 道路工L=18m、測量試験一式 用地買収一式 事業期間 平成5年度～平成21年度 事業費 11,110千円(工事費11,000 事務費110) 負担区分 工事費 県 65% 市町村 35% 事務費 県 50% 市町村 50% →伊勢市負担額 3,905,000円</p>	<p>205</p>
<p>6. 農道整備事業</p>	<p>11,519</p>	<p>道路幅員等において国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通安全の確保に努めた。 村松町地内 農道舗装(その1) 工事ほか6件</p>	<p>205</p>
<p>7. 農業用排水路整備 事業</p>	<p>10,734</p>	<p>国・県の補助事業として採択基準に合致しない老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。 津村町地内 農業用排水路(その1) 工事ほか4件</p>	<p>205</p>
<p>8. 給水栓整備事業</p>	<p>3,330</p>	<p>当該地区の農業用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。 西豊浜町地内 給水栓設置 70箇所</p>	<p>205</p>
<p>9. 農村振興整備事業</p>	<p>3,429</p>	<p>農業地域の活性化のための人口定住化を図り、農作物を安定的に供給する農業が営まれる地域づくりを実現するための実施計画を作成した。</p>	<p>205</p>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 69,634 千円  
 決算額 67,910 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	104		20,660	47,146

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 排水機等補修事業	32,108	<p>排水機場の定期的なポンプ、エンジンのオーバーホール、除塵機等設備の整備補修等を実施することにより、施設の機能保持と耐用年数の確保を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とし、土地改良施設維持管理適正化事業に加入することで、事業費の90% (国: 30%、県: 30%、市: 30%) の交付金を受けけるものである。</p> <p>また交付金90%のうち、市負担の30%と、2.5%の事務費を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。</p> <p>(概要)</p> <p>○土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金</p> <p>【旧伊勢分】 4,745,000円                      施行施設 村松町 村松排水機場                      村松町 亀池心門                      有滝町 社護神排水機場                      東豊浜町 東豊浜第2排水機場                      一色町 一色排水機場</p> <p>【旧二見分】 4,875,000円                      施行施設 二見町庄 庄排水機場                      二見町江 江排水機場                      二見町松下 松下排水機場                      二見町今一色 今一色排水機場                      二見町西 西排水機場                      二見町三津 三津排水機場</p> <p>【旧小俣分】 390,000円                      施行施設 小俣町元町 汁谷川排水機場                      負担区分 国 30% 県 30%                      市 40% (うち30%は拠出金)</p> <p>○排水機場補修工事</p> <p>【旧伊勢分】 6,093,150円                      施行施設 村松町 村松排水機場</p> <p>【旧二見分】 15,979,950円                      施行施設 二見町松下 松下排水機場ほか2件</p>	頁 205

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 47,896 千円  
 決算額 37,696 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,703	7,100	131	26,762

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 環境保全林整備事業	1,978	市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、適正な間伐による、保全林機能の向上を図った。 間伐 4.9ha	頁 207
2. 音無山擁壁補強事業	7,218	音無山北斜面の遊歩道及び法面の擁壁に亀裂が生じており、そのまま放置すると法面が崩落する恐れがある。法面の直下には国道42号が通っており多大な危害が及ぶとともに、音無山利用上支障をきたすことから、これらを未然に防ぐため擁壁補強事業を実施した。 事業期間 平成19年度～平成20年度 事業内容 ○平成19年度分 測量、地質調査、設計、積算 ○平成19年度からの繰越分 擁壁工N=51箇所 舗装工A=197㎡ 植栽工 一式 事業費 20,408,850円	207
3. 森林病虫害防除事業	5,612	海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布 19.3ha 伐倒破砕 80.4㎡	207
4. 獣害防止事業	814	伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林産物及び人的被害軽減に努めた。 猪・鹿: 3,000円/頭 猿: 10,000円/頭	207
5. 森林環境創造事業	785	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.24ha実施した。	207
6. 海辺の公有林管理経費	7,803	二見町今一色から茶屋にかけての海岸地区保安林及び林内歩道を適正に保全・管理するため、下刈り及び松くい虫被害木の伐倒駆除を実施し、予防と機能維持を図った。	207

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 3,444 千円  
 決算額 3,118 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			9	3,109

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. アサリ漁場造成効果調査事業	46	平成18年度に県営事業により覆砂を行った漁場について、覆砂漁場の状態やアサリの生息について調査し、覆砂による漁場造成手法の効用を検証した。	頁 209
2. アサリ養殖振興事業補助金	2,227	主力水産物であるアサリ資源の減少により、生産高がここ数年激減しているため、伊勢市各地先に種苗を放流して資源の増大、漁家経営の安定を図った。	209
3. 種苗(クルマエビ等)育成事業補助金	182	伊勢湾に小型底曳網漁業等で漁獲されるクルマエビ・ヨシエビ・クロダイ・ヒラメ・ナマコ種苗を放流して、資源の増大と生産の安定を図った。	209
4. 稚鮎等放流事業補助金	600	宮川本支流にアユ・ウナギ・アマゴ種苗を放流して、資源の増大と生産の向上を図った。	209
5. 水産教室実施事業	63	市立豊浜東小学校5年生(25名)に伊勢市の漁業に関する講習・施設見学、水産加工物製造体験を実施し、将来つぐべき職業のひとつとして考えてもらうよう、漁業への興味高揚を図った。	209

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 4. 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 163,865 千円  
 決算額 108,991 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,910	51,143	24,200	758	7,980

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 豊北漁港整備事業	30,008	○豊北漁港浚渫工事 航路に土砂が堆積し、漁船の航行に支障をきたしているため、土砂を浚渫し(A=1,971㎡)漁船の安全航行を図った。	頁 209
2. 豊北漁港海岸整備事業	57,481	○豊北漁港海岸整備工事 老朽化した堤防を整備し、波浪時の高潮等から背後地を防護するため、海岸整備工事(L=40m)を進めた。	209

<p>3. 豊北漁港津波危機 管理対策緊急事業</p>	<p>11,500</p>	<p>○豊北漁港海岸陸こう整備工事        角落し式となっている陸こう門をアルミ製の扉式に改良し、高潮や津波の防護に短時間で対応できるように、整備工事（2基）を進めた。</p>	<p>211</p>
<p>4. 大淀漁港堤防修繕 事業</p>	<p>10,002</p>	<p>○大淀漁港海岸堤防修繕工事        堤防の法面が内部土砂の流出により陥没しているため、修繕工事（L=20m）を行い機能の維持を図った。</p>	<p>211</p>

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 91,372 千円  
 決算額 90,738 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				90,738

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢志摩総合地方卸売市場貸付金	18,000	多額の累積赤字を抱えている市場に対し、資金を貸し付けることにより経営の安定を図り、消費者への生鮮食料品の安定供給と地元生産者の安定的な販路の確立を図った。	211

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 31,762 千円  
 決算額 29,463 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				29,463

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 商工制度資金利子補給事業補助金	175	平成18年末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じた利子の補給補助を行い、小俣町商工会管内の商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。 補助件数 25件	213
2. 小規模事業資金融資保証料補給補助金	6,360	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。 補助件数 236件	213
3. 経営改善普及事業補助金	7,200	小俣町商工会が商工業者の経営技術の改善普及を図るため実施する経営改善普及事業に要する経費に対し、補助金を交付することにより商工業の発展を図った。	213
4. 中小企業相談所事業補助金	9,500	伊勢商工会議所内に設置された中小企業相談所が実施する中小企業への経営改善指導事業等に対し、補助金を交付することで中小企業の振興を図った。	213

5. TMO構想推進協働事業	1,962	<p>中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められており、地域住民や商店街等の相互の理解と協力が重要であることから、平成17年1月から市としてまちづくりに取り組むランチとしての活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地域住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させ、協働のまちづくりを進めている。その中の取り組みの一つに厚生地区まちづくりの会への活動支援を行い、中心市街地の活性化に取り組んでいる。</p> <p>また、中心市街地PR事業として、中心市街地で開催される各種イベント等を集合チラシ（新聞折込）にて情報発信した。</p> <p>事業着手年度 平成16年度～</p>	213
6. TMO構想推進事業補助金	4,227	<p>商店街の集客力及び機能回復を促進し、中心市街地の活性化の一助とするため、いせTMO（事務局：商工会議所）に補助金を交付した。</p> <p>(1)空店舗等対策事業</p> <p>①活用モデル事業 2件</p> <p>②テナント確保支援事業 3件</p> <p>③チャレンジショップ事業 6件</p> <p>(2)各種調査事業</p> <p>空店舗調査、商店街通行量調査</p> <p>(3)商業まちづくり補助金事業 4団体</p>	213

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 65,685 千円  
 決算額 59,159 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,708	56,451

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 産業支援推進事業	1,979	中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を交付した。	213
2. ものづくり推進事業	6,741	<p>市民への地場産業の情報発信、及び企業間交流の促進を図るため、地場産業展PR事業を委託し、「伊勢の工芸展と名産市」などの開催や、「リーディング産業展みえ2008」へ市内企業・団体が共同で出展した。</p> <p>企業支援員を配置し、市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握し、その解決に向け関連支援機関等への橋渡しや、各種支援策の紹介を行った。</p>	213
3. 起業支援推進事業	8,124	<p>起業支援員を委託し、産業支援センター内で、起業者に対して課題解決のアドバイスや経営・財務などの相談支援を行った。また、起業啓発イベントや起業者への実務セミナーなどを開催し、起業の気運向上や環境を図った。</p>	213

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 180,236 千円  
 決算額 179,728 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			6,594	173,134

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 平家の里施設管理事業	5,271	辺地対策として、昭和57年度から63年度にかけて新産業構造改善事業（自然活用型）により建設された本施設について、平成20年度で指定管理期間を終了し、公募を行った結果、応募者がなく運営を一時休止することとなった。	215
2. 伊勢活性化プロジェクト事業	4,998	「市民力の結集」を活用した観光振興を図るため、市民団体等と行政が一体となり本市の観光に関する現状と課題を話し合い各組織が互いに役割を認識しながら連携を図った。	215
3. 二見浦旅館街再生事業	1,000	二見地域の活性化による宿泊客数増加を目的に各団体と行政による協議会設立。スポーツ大会・合宿の受け入れ準備と地域資源の絞り込みを図った。	215

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 初参り旅客接遇事業負担金	500	地元15団体による伊勢おもてなし会を設立し外宮前、外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、外宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客におもてなしを実施。 伊勢市観光協会としては、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇及び宇治浦田駐車場の管理を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅を各4,000個配布した。	215
2. 案内所運営委託事業	9,487	外宮前・近鉄宇治山田駅構内・二見浦観光案内所で、観光客の案内を行った。（（社）伊勢市観光協会に委託） ・外宮前案内所 68,487件 （うち外国人 1,838件） ・宇治山田駅構内案内所 28,840件 （うち外国人 625件） ・二見浦観光案内所 5,646件 （うち外国人 49件）	215
3. 観光協会負担金	6,248	（社）伊勢市観光協会の財政基盤の確立と観光協会自体が弾力性をもって観光の推進に努めた。	215

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	10,616	資料館である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることにより、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図っている。施設見学はもとより、各種自主催事を実施し、より多くの集客に繋げている。 ○委託料 5,700千円(指定管理料) ○入館者数 H20年度 27,301人	215
2. 海水浴場管理運営事業	7,741	二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。 ○委託料 1,564千円(管理運営委託) (社)伊勢市観光協会へ委託 802千円(防護フェンス設置委託等) 工事費 4,750千円(サマービーチハウス 改修工事等) ○開設期間 平成20年7月5日～8月31日 ○来場者数 H20年度 約28,400名	215
3. 二見七夕・星まつり支援事業	2,000	平成20年7月14日(月)～8月31日の間、二見浦・夫婦岩表参道一帯で「二見七夕・星まつり」を開催した。 期間中毎日19時～22時、発光ダイオードによる光の演出でまちなみを彩り、「花魁道中」や「動物おもしろクイズ大会」、「写生大会」、「俳句会」、「演奏会」など、様々な催し物を企画、実施した。	215

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 105,646 千円  
決算額 100,766 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				100,766

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	8,500	113年の歴史があった伊勢おおまつりの組織体制を一新、市民主体の実行委員会を立上げ「伊勢市民おおまつり」を開催し、伊勢音頭、パレードや踊りを実施した。 実施日 : ①平成20年10月4日～5日(土日) ②平成20年10月17日(金) 実施場所 : ①山田地区(県道鳥羽松阪線等) ②宇治地区 観客動員数 : 約129,000人 参加団体 : 165団体 参加者数 : 6,516人	217

## 観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光情報発信事業	15,653	遠方地域と中部・関西地域を重点とした誘客宣伝を実施。ホームページの改修及びパンフレットの一新、ポスター作成を行うとともに雑誌や新聞等のマスメディアを有効的に活用しながら、伊勢への誘客に役立つ情報の提供を実施した。	217
2. 広域連携事業	9,621	三重県をリードする役割を認識し、近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化するお客様ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な観光客の誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。	217
3. 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業	3,000	三重県観光販売システムズに業務委託する形で、伊勢の観光資源を十分に活用した旅行商品の開発等伊勢への誘客事業を積極的に推進した。	217
4. 各種集大会等誘致開催補助金	1,390	産業経済振興等のために開催され、市内集会施設を利用し、かつ市内（新市区域）に宿泊することを原則とした県大会規模以上の各種集大会に補助金を交付した。 【補助額】市内宿泊人員に対し、1人1泊300円	217
5. 伊勢志摩広域観光活性化事業	22,747	伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び地域観光圏整備事業、伊勢志摩キャンペーン等を実施した。	217
6. 外国人観光客誘致推進事業	472	外国人誘客事業として、トップセールスによる外客誘致を実施した。	217

## 観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 全日本花いっぱい伊勢大会開催負担金	18,242	町を花いっぱいにして社会を美しく、明るく、住みよくし、平和な理想郷を建設することを目的とした「花いっぱい運動」の全国大会を開催する準備を行なった。 また、大会終了後も「花いっぱい運動」を継続し、花で溢れる魅力あるまちづくりを進めるため、市民及び団体の育成を含めた計画の準備をした。	217
2. おもてなしスキルアップ事業	41	市内在住の外国人、通訳者等に伊勢の簡単な歴史を学んでもらうこと、最終的に街角でのガイド等手続きの要らないレベルでの活動を目指す。今年度は、2月に研修会及び3月にフィールドワークを実施し、延べ20名の外国人及び関係者が参加した。	217
3. 春の行事負担金	1,100	日本さくらの名所百選の宮川堤において（社）伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を出迎えた。 （4月1日～10日） 5月17日～18日に日本観光交流・伊勢会議及び観光祈願祭を開催した。	217

4. 花火大会開催負担金	10,000	50の花火師が参加。打上花火の部50組、スターマインの部11基の2部門で競われ、全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられた。 平成20年度は、携帯版ホームページを新設。また、花火師1人1人の写真とそれぞれの花火に採点ができるよう、採点欄を記載したプログラムを作成するなど改善を行った。 観客数22万人	217
-----------------	--------	--	-----

**小俣総合支所 地域振興課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	5,000	地域づくり、協働によるまちづくりを目的として、市民で構成する実行委員会が主催し、「第12回おぼたまつり」を開催した。 実施日 : 平成20年8月24日(日) 午後1時から午後9時30分 実施場所 : 宮川親水公園 観客動員数: 約10,000人 参加団体 : 8団体 参加者数 : 348人	217

**御菌総合支所 地域振興課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	5,000	河川愛護の啓発と地域住民のふれあい、協働によるまちづくりを目的として、市民で構成する実行委員会が主催し、「御菌ラブリバーふれあい祭り」を開催した。 実施日 : 平成20年8月2日(土) 午後2時30分～午後8時30分 実施場所 : 宮川ラブリバー公園 観客動員数: 約10,000人 参加団体 : 15団体 参加人数 : 350人	217

**(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費**

(単位 千円)

予算現額 11,400 千円  
決算額 11,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				11,400

**観光事業課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民俗伝統行事推進事業負担金	6,000	第62回神宮式年遷宮に向け、平成18・19年に市指定無形民俗文化財の「お木曳行事」が盛大に行われたが、今後予定されている平成21年の宇治橋渡始式、平成25年のお白石持ち行事まで継続して遷宮関連行事とともに伊勢を情報発信するため御遷宮対策事務局の運営を支援した。	217
2. 伝統芸能継承事業負担金	400	「初穂曳」への開催負担金。 伊勢市の伝統芸能である伊勢音頭の普及育成とお木曳・お白石持ち行事の技術と文化を継承するために実施した。	217

<p>3. 伊勢のまつりブランド化推進事業</p>	<p>5,000</p>	<p>10月14日に県営サンアリーナにおいて神嘗晦日祭が行われ、神嘗エンヤ市や阿波踊りや花笠踊り、沖縄エイサー、岸和田だんじり、越中おわら風の盆、じゃこっぺ踊りなど日本の三大民踊、三大パレードと言われる団体が来勢し、約12,000人の集客に繋がった。 15日には市駅前から外宮にかけて、初穂曳に加え全国の踊りなどが披露された。</p>	<p>217</p>
-------------------------------	--------------	---	------------

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 196,793 千円  
 決算額 194,217 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22			194,195

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路台帳整備経費	7,350	道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 新規認定 3.6 km 廃止 0.2 km 改良 9.5 km	219

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 152,419 千円  
 決算額 131,428 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	43			131,385

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	28,640	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 また、危険箇所、老朽箇所を補修し、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 27,863,850円 ・舗装工事 3件 L=1,453.0m A=9,210.0㎡ 【旧小俣分】 775,950円 ・舗装補修工事 1件 L=171.8m A=149.6㎡	221

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 655,539 千円  
 決算額 592,604 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		469,800	31,174	91,630

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	3,270	三重県が施行した道路改良事業に対し、負担を行った。 (鳥羽松阪線、館町通線、横輪南勢線、伊勢南島線、伊勢南勢線、伊勢大宮線、一般国道42号)	221

## 基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路改良事業	90,868	<p>市民生活に密接した道路の拡幅等を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分</p> <p>道路改良工事 5路線 L=512.1m (平成21年度へ一部繰越)</p> <p>道路舗装工事 1路線 L=1,770.0m<sup>2</sup></p> <p>安全施設設置工事 2路線 道路反射鏡・区画線一式</p> <p>設計業務 7路線 L=2,510.0m</p> <p>測量業務 5路線 L=1,480.0m</p> <p>用地買収 5筆 A=448.12m<sup>2</sup></p> <p>支障物件移転補償 4件</p> <p>②平成19年度からの繰越</p> <p>道路改良工事 1路線 L=37.0m</p> <p>道路舗装工事 1路線 A=562.0m<sup>2</sup></p> <p>安全施設設置工事 1路線 区画線一式</p> <p>用地測量 1路線 用地測量一式</p> <p>用地買収 3筆 A=78.99m<sup>2</sup></p> <p>支障物件移転補償 4件</p>	221

## 維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	498,466	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>また、危険箇所等の補修を行い、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>【旧伊勢分】 383,577,710円</p> <p>①現年分</p> <p>・測量設計等 25件</p> <p>・一般改良 24件 L=7,414.8m</p> <p>・用地買収 1件</p> <p>【旧二見分】 67,044,990円</p> <p>①現年分</p> <p>・測量設計 4件</p> <p>・一般改良 4件 L=912.9m</p> <p>・用地買収 1件</p> <p>②平成19年度からの繰越分</p> <p>・測量設計 1件</p> <p>・一般改良 3件 L=733.7m</p> <p>【旧小俣分】 10,117,800円</p> <p>①現年分</p> <p>・測量 1件</p> <p>・一般改良 5件 L=573.8m</p> <p>【旧御菌分】 37,725,450円</p> <p>①現年分</p> <p>・測量設計 4件</p> <p>・一般改良 5件 L=679.8m</p>	221

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 45,098 千円  
 決算額 44,931 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				44,931

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 交通安全施設整備 事業	20,795	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 14,057,005円 ・道路反射鏡 63基 ・道路照明設備 6基 ・区画線工 1,719.0m ・ガードレール 108.5m ・カラー舗装 619.0㎡ ・減速帯 240.0m 【旧二見分】 1,042,650円 ・道路反射鏡 7基 ・区画線工 204.4m 【旧小俣分】 5,096,700円 ・道路反射鏡 16基 ・カラー舗装 271.1m ・区画線工 1,784.0m 【旧御薮分】 598,500円 ・道路反射鏡 4基 ・区画線工 85.0m	頁 223

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 277,004 千円  
 決算額 126,182 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
62,356		18,900	5,697	39,229

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 大湊川線整備事業	78,489	<p>大湊町民の災害時の避難路は、現在、県道大湊宮町停車場線にかかる湊橋だけとなっており、住宅団地等の開発が進む中で新しい道路の建設が急務となっている。</p> <p>また、医療・福祉施設などの高齢者の増加に対応した施設、日常生活の利便性を賄う商業施設が不足しており、地区外への依存が日常から求められている。</p> <p>そのため、大湊地区の防災機能の向上及び住民の生活機能の拡充を図り、バイパス整備を進めた。第1工区については、平成14年度に完了し、引き続き第2工区を平成15年度から平成21年度完了を目指し、進めているものである。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇地方道路整備臨時交付金事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁工事 一式</li> <li>コンクリート橋上部工、橋梁付属物工、舗装工 (平成21年度へ一部繰越)</li> <li>道路改良工事 L=123.7m</li> </ul> </li> <li>◇地方特定道路整備事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>道路改良工事 L=360.0m</li> <li>公園整備工事 舗装工A=185.0㎡</li> <li>園内施設整備工 一式</li> </ul> </li> </ul> <p>(全体事業) (交付金・起債事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地方道路整備臨時交付金事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>[第一工区]                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費 248,000千円</li> <li>事業概要 道路改良 L=220m</li> <li>事業期間 平成11年度～平成14年度</li> </ul> </li> <li>[第二工区]                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費 572,000千円</li> <li>事業概要 道路改良 L=170m</li> <li>事業期間 平成15年度～平成21年度</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○地方特定道路整備事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費 127,634千円</li> <li>事業概要 道路改良 L=570m</li> <li>事業期間 平成11年度～平成20年度</li> </ul> </li> </ul>	頁 223

<p>2. 小俣20号線整備事業（交付金）</p>	<p>35,173</p>	<p>本路線は小俣市街地と明野小学校、総合体育館、大仏山公園等がある明野地区を結ぶ重要な路線であり、また通学路にもなっているが、歩道・車道共に幅員が狭く危険な状態となっている。そのため、拡幅整備を行うことにより、安全な通学路として、また車両の安全な通行機能の向上を図るものである。</p> <p>（概要） ◇地方道路整備臨時交付金事業 ①現年度分 道路改良工事 L=168.0m ②平成19年度からの繰越 道路改良工事 L=159.0m 公園改修工事 公園施設設置・撤去工 一式 （全体事業）（交付金事業費） 事業費 460,824千円 事業概要 道路改良 L=1,165m 事業期間 平成16年度～平成21年度</p>	<p>223</p>
<p>3. 柏東大淀線整備事業（防衛）</p>	<p>12,520</p>	<p>本路線は東大淀町から国道23号へ通じる生活道路であり、また、隣接する柏町から災害時非難場所である東大淀小学校へ通じる最短ルートでもあるが、道路幅員が狭く道路機能が著しく低い状態である。また、本路線上空を陸上自衛隊明野駐屯地の航空機が低空で進入離脱を繰り返しており、航空機事故等緊急時の救助活動、避難活動に支障をきたす恐れがある。そのため、平成18年度から防衛省補助事業として整備を行っているものである。</p> <p>（概要） ◇防衛施設周辺民生安定施設整備事業（補助） ○平成20・21年度継続費 道路改良工事 L=80.0m 橋梁工事 一式 道路整備事業と河川改修事業による合併施行 負担割合：道路51.4% 河川48.6% （全体事業）（補助事業費） 事業費 235,000千円 事業概要 道路改良 L=710.0m 事業期間 平成18年度～平成23年度</p>	<p>223</p>

（款）9. 土木費 （項）3. 河川費 （目）2. 勢田川対策費

（単位 千円）

予算現額 20,263 千円  
決算額 19,205 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,100				7,105

維持課

（単位 千円）

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. 勢田川浄化経費</p>	<p>17,568</p>	<p>平成5年10月から、宮川7.4km地点（辻久留2丁目地内）で取水し、勢田川5.1km地点（小田橋下流）に、1.0<sup>ト</sup>/秒以下の導水を行っている。 （平成20年度の稼働日数288日）</p>	<p>225</p>

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 河川改修事業費

(単位 千円)

予算現額 190,208 千円  
 決算額 187,415 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
94,893		46,000	30,905	15,617

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 準用河川大堀川支川改修事業(防衛)	134,242	<p>土地形状の変化や排水流出量の増加に伴う河川の断面不足により、豪雨時の浸水被害が近年多発している。浸水被害の防止が急務となっているため、河川改修を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>◇防衛施設周辺障害防止事業(補助)</p> <p>①現年分                      用地買収 A=66.91m<sup>2</sup>                      工作物補償 一式</p> <p>②平成19・20年度継続費                      築堤護岸工事 右岸L=318.6m                      左岸L=77.6m</p> <p>③平成20・21年度継続費                      築堤護岸工事 右岸L=162.4m                      左岸L=267.0m</p> <p>橋梁工事 一式                      道路整備事業と河川改修事業による合併施行                      負担割合:道路51.4% 河川48.6%</p> <p>(全体事業)(補助事業費)                      事業費 740,000千円                      事業概要 改修延長 L=760.0m                      幅員 W=14.5m                      流量 Q=52m<sup>3</sup>/秒                      事業期間 平成16年度~平成23年度</p>	頁 225
2. 準用河川桧尻川改修事業	53,173	<p>河積不足で流下能力が極めて低く、周辺では毎年のように浸水被害を受けており、治水対策が急がれる状況であるため、河川改修を進めた。</p> <p>なお、平成10年度より進めてきた本川の暫定改修は平成20年度に完了した。</p> <p>(概要)</p> <p>◇総合流域防災事業(補助)</p> <p>○平成19年度からの繰越分                      橋梁改修工事 L=73.3m                      支障物件移転補償 5件</p> <p>◇関連事業</p> <p>○平成19年度からの繰越分                      ポンプ設備設置工事 水中ポンプ2基</p> <p>(全体事業)(補助事業費)                      事業費 2,364,000千円                      事業概要 桧尻川 改修延長 L=380.0m                      幅員 W=10.45m                      流量 Q=37m<sup>3</sup>/秒                      桧尻川支川 改修延長 L=243.5m                      幅員 W=7.85m                      流量 Q=19m<sup>3</sup>/秒                      事業期間 平成10年度~平成30年度(予定)</p>	225

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 6. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 196,597 千円  
 決算額 53,510 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		38,400	6,354	8,756

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水施設整備事業	53,510	豪雨時の急激な増水による浸水を防止するとともに、生活環境の向上を図るため、排水路の整備、排水機場の整備等を進めた。 (概要) ①現年分 ポンプ場設計業務 1 ポンプ場 排水路改良工事 1 排水路 L=321.5m (平成21年度へ一部繰越) ポンプ場機械設備工事 1 ポンプ場 (平成21年度へ一部繰越) ポンプ場電気設備工事 1 ポンプ場 (平成21年度へ一部繰越) 用地買収 13筆 A=518.01㎡ ②平成20・21年度継続費 材料価格調査(ポンプ・電気等) 1 機場 ③平成19年度からの繰越 測量設計等業務 1 排水路 測量L=0.19km 設計L=0.64km 地質調査 一式 排水路改良工事 1 排水路 L=17.6m	229

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 7. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 33,640 千円  
 決算額 23,871 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		19,400		4,471

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	23,871	護岸の侵食が著しい河川の改良を行い、機能の改善を進めた。 (概要) 測量設計業務 1 河川 測量L=200.0m 設計L=120.0m 一般改良工事 2 河川 L=79.0m (平成21年度へ一部繰越) 支障物件移転補償 1 件 (平成21年度へ一部繰越)	229

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 22,188 千円  
 決算額 21,765 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,061	252	11,900		8,552

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	13,480	三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。 海岸維持：宇治山田港（大湊・二見）、北浜地区、松下地区、神前地区 港湾改修：宇治山田港（神社地区、大湊地区）	229

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 1. 都市計画総務費

(単位 千円)

予算現額 1,761,981 千円  
 決算額 1,754,827 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	553		598	1,753,676

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 都市計画道路見直し調査検討経費	5,981	昭和21年に当初決定され、現在においても長期未改良の路線が存在しているため、都市計画道路の必要性の検証を行った。また次年度の見直しに向けた将来交通量の算出及び鉄道交差区間の取り付け検討を行った。 (概要) ◇伊勢都市計画道路見直し調査検討業務	231
2. 都市計画基本方針策定経費	2,846	総合計画策定に伴い、伊勢市の今後の都市計画の立案・推進に重要な基本的な都市づくりの方針、長期的な視点から都市の将来像を示し、市の都市空間づくりの総合的な指針として都市マスタープラン全体構想案を作成した。 (概要) ◇伊勢市都市マスタープラン全体構想案作成業務	231

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 759,708 千円  
 決算額 621,713 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
87,300		418,500	57,719	58,194

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢湾海上アクセス推進事業	70,591	伊勢市と中部国際空港を結ぶ海上運航のため、ターミナル整備を進めてきたが、運航事業者からの突然の就航断念の申し出により、就航が中止になった。そのため、新たな運航事業者の開拓を行ったが、中部国際空港との航路開設については、社会情勢が安定するまで凍結することとした。 また、ターミナルの管理は、市の直営管理として維持管理を行うとともに、ターミナル施設の利活用について検討を行った。	231

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 宇治山田港交流拠点及び勢田川歴史観光交流軸整備事業	1,888	伊勢市神社海の駅について、指定管理者制度による管理運営を行った。 指定期間：平成18年8月1日～平成21年3月31日 委託金額：4,740,000円 20年度委託金額：1,886,000円	231

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備事業	6,875	「まちづくり交付金」を活用し、まちづくり活動推進事業として地域のまちづくり活動の支援や花と緑のまちづくり事業の推進を行った。 (概要) ◇まちそだて推進事業委託 ◇花と緑のまちづくり事業	231
2. 街なみ環境整備事業	2,049	街なみ環境整備事業の一環として、二見町景観形成地区内で家屋の新築、増改築を行う建築物並びに工作物に対し、補助基準を満たす申請物件に対し工事費の1/3(上限1,000千円)の補助を行った。	231
3. 小俣町本町地区周辺整備事業	940	「まちづくり交付金」を活用し、歴史的資源を活かした地域のまちづくり事業の推進を行った。 (概要) ◇本町再発見活動事業委託	231
4. 風景まちづくり推進事業	4,697	平成17年6月に全面施行した景観法を活用して、景観形成を進めていくため、平成20年3月に景観行政団体となり、景観計画の策定に取り組んだ。 (概要) ◇伊勢市景観計画作成業務	231

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備 事業	319,326	<p>『まちづくり交付金』制度を活用し、平成18年度から伊勢市駅周辺地域の道路、公園の整備を段階的に行い、中心市街地の活性化、再生を図っている。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分</p> <p>建物調査業務 2路線 公園整備工事 3公園 道路改良工事 2路線 用地買収 18筆 A=916.26㎡ 支障物件移転・残地補償 10件 (平成21年度へ一部繰越)</p> <p>除草等業務委託 5件</p> <p>②平成19年度からの繰越</p> <p>建物調査業務 1路線 公園整備工事 1公園 道路改良工事 2路線 道路舗装工事 1路線</p> <p>(全体事業) (交付金事業費)</p> <p>事業費 2,870,000千円 事業概要 道路9路線 公園10公園 事業期間 平成18年度～平成22年度</p>	231
2. 小俣町本町地区周 辺整備事業	215,347	<p>『まちづくり交付金』制度を活用し、平成18年度から宮川駅周辺の道路環境整備を進め、市街地の活性化と鉄道の利用促進を図っている。</p> <p>(概要)</p> <p>建物調査業務 2路線 用地買収 16筆 A=1,260.10㎡ 支障物件移転補償 7件 除草等業務委託 3件</p> <p>(全体事業) (交付金事業費)</p> <p>事業費 1,104,000千円 事業概要 道路3路線 公園1公園 橋梁点検7箇所 事業期間 平成18年度～平成22年度</p>	231

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 3. 都市施設管理費

(単位 千円)

予算現額 151,224 千円  
 決算額 148,585 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	225		16,352	132,008

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 花のまちづくり推進事業	3,426	<p>平成2年当時まつり博等市の一大イベントを控え、公共用地にパンジーなどを植え、観光客・市民にとって美しい花のまちづくりを推進した。イベント終了後も一過性の事業とはせず毎年推進している。</p> <p>平成20年度においては、第52回全日本花いっぱい伊勢大会に向け、花壇への植付けを行い、また既存花壇の整備を進めることにより市民による花の植付けを促すなど、花のまちづくりへの参加をさらに推進した。</p> <p>(概要)                      花壇への植付け                      滝倉川線、楓橋、桜橋、倭町、岡本町、西条、船江山川、西口、宮崎文庫、東豊浜、西豊浜、大湊等 各花壇</p>	233

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 4. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 70,000 千円  
 決算額 70,000 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		58,500		11,500

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	70,000	<p>三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。                      (秋葉山高向線、新国道)</p>	235

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 公園費

(単位 千円)

予算現額 30,596 千円  
 決算額 29,890 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,703		10,000	21	6,166

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. うえやま公園整備事業(防衛)	19,109	植山町の非常時における緊急避難場所の確保を図るとともに、地区住民の快適なレクリエーション・コミュニティ活動の場所を提供するために公園整備を進めた。 (概要) 防衛施設周辺民生安定施設整備事業(補助) 平成19・20年度継続費 公園整備工事 A=1,627.93㎡ (全体事業) (補助事業費) 事業費 31,771千円 事業概要 A=1,627.93㎡ 事業期間 平成19年度～平成20年度	235
2. 公園改良事業	10,781	人々のふれあいの場、レクリエーションの場として安全で快適に利用できる公園を提供するために公園整備を進めた。 (概要) 朝熊山麓公園花木植栽整備工事 朝熊山麓公園排水施設ほか整備工事 倉田山公園駐車場整備工事	235

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 都市下水路費

(単位 千円)

予算現額 19,010 千円  
 決算額 6,205 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,482		2,000		1,723

上下水道総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 倉田山都市下水路整備事業	6,205	本地域は、古市町のテニスコート付近から黒瀬町の勢田川までの流域をもち、既設排水路及び排水機場の能力不足から、豪雨の度に浸水被害に見舞われていた。このため、平成5年度に都市下水路事業として工事に着手し、平成11年度に黒瀬ポンプ場の一部供用を開始した。平成12年度にはポンプ設備の増設と共に、1号幹線及び2号幹線下水路の築造工事を行ってきた。平成15年度に整備区域を拡大するため事業の変更認可を行い、平成16年度から平成19年度の4ヵ年で1号幹線下水路の築造工事を行った。平成20年度は、1号幹線に引き続き、2号幹線下水路の水路合流点を中心にネック点の解消を図るため築造工事を行った。 (事業概要) 倉田山都市下水路2号幹線下水路築造工事 幹線下水路築造 L=55m	235

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 207,179 千円  
 決算額 201,264 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,262	334	20,300	123,818	43,550

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 高齢者向け優良賃貸住宅家賃対策事業	9,076	民間の土地所有者等による賃貸住宅の経営を誘導することにより、公営住宅を補完し高齢者の安全で安定した居住を確保するため、平成14年3月29日付で三重県知事より認定を受けた高齢者向け優良賃貸住宅供給計画に基づき、民間事業者により建設された高齢者向け優良住宅に対し、昨年度に引き続き住宅の家賃減額補助を行った。 (施設概要) 名称 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻 所在地 伊勢市竹ヶ鼻町字沖田198番地 概要 鉄筋コンクリート造 5階建 24戸 1DK 43.22㎡ 20戸 2DK 54.42㎡ 4戸 エレベーター、緊急通報装置の設置、内装のバリアフリー化	頁 237
2. 住宅等改修事業	19,186	市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 (概要) 空家解体工事 対象 川端中須団地 5棟10戸 旭ヶ台団地 3棟6戸 中村団地 1棟2戸 栗野団地 1棟1戸 補強工事共 改修工事 対象 黒瀬第3団地 1棟1戸	239
3. 住宅等整備事業	34,161	平成17年度に策定した「地域住宅計画」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。 (概要) 景観改善工事 中村団地 5棟25戸 高齢者仕様改善工事 倭A団地 1棟12戸 公共下水道接続工事 竹ヶ鼻第1団地 東棟、西棟 駐車場整備工事 一之木団地、中村団地 老朽化市営住宅入居者移転促進事業(移転補償) 川端中須団地ほか6団地 12戸	239

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 2,058,359 千円  
 決算額 1,836,818 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,993		42,700	344,964	1,435,161

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	5,174	救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。 防火外套 2,251千円(16組) 軽量空気ボンベ 1,027千円(20本) 軽量消防用ホース 998千円(36本)他	241
2. 救急車購入事業	32,120	消防署御菌分署新設に伴い、平成6年登録の救急車1台を更新した。また、必要な機材を配備した。 高規格救急車 1台 16,065千円 高度救命処置機材 一式 15,960千円 他	241
3. 消防緊急システムハードウェア更新経費	17,325	平成11年度導入の消防緊急システムハードウェア老朽のため更新した。 パソコン 4台 ディスプレイ 4台 プリンタ 9台 ソフトウェア 一式	241
4. 消防自動車購入事業	38,601	消防署御菌分署新設に伴い、昭和60年登録の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。また、必要な積載資機材を配備した。 水槽付消防ポンプ自動車(1-B型) 1台 35,144千円 積載資機材(小型油圧救助器具) 一式 2,796千円 積載資機材(特殊噴霧ノズル及び発泡器) 一式 460千円他	241

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 101,701 千円  
 決算額 99,499 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		7,800	10,388	81,311

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 非常備貸与被服購入経費	2,276	消防団員の被服統一、士気高揚を図るため、被服を一新し貸与した。 雨合羽 559着 1,409千円 方面隊ネーム 559枚 340千円	241

2. 各種資機材購入経費	3,499	3カ年更新計画（2年目）により、消防車両49台に積載してある防火衣と消防団再編成のため方面隊旗を更新した。また、三重県消防団操法大会参加用として資機材を購入した。 防火衣 60組 1,257千円 消防団方面隊旗 7枚 513千円 小型動力ポンプ操法用物品 1式 1,729千円	241
3. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	10,083	消防団車両更新計画に基づき経年の小型動力ポンプ付積載車3台を更新した。 積載車 3台（御菌分団御菌第1班・二見分団二見第4班・城田分団中須班）	241

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 248,623 千円  
決算額 205,523 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		145,500	370	59,653

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 消火栓改良負担金	3,746	市内の老朽した双口消火栓2基及び単口消火栓3基を火災時の使用に対する安全対策のため更新した。 改良 5基 3,746千円	243
2. 消火栓新設負担金	5,244	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に単口消火栓12基を設置し、消防水利の普及を図った。 新設 12基 5,244千円	243
3. 消防水利施設整備経費	2,527	消防水利の位置を明確にするるとともに、その周辺への障害物排除及び活動区域を確保するため、消防水利溶着塗装及び標識の設置を施し対策を講じた。また、不良水利の改修及び撤去の整備を行った。 水利蓋改修等 1,656千円 11箇所 溶着塗装 525千円 169箇所 防火井戸撤去 346千円 1箇所	243
4. 分署庁舎新設事業	145,437	消防署御菌分署庁舎新築工事のため、御菌町長屋地内に新設した。 建築工事 96,900千円 電気設備工事 17,850千円 機械設備工事 16,779千円 監理業務委託 1,373千円 鉄骨造2階建 面積 587.84㎡ 消防緊急通信施設システムソフトウェア変更業務委託 4,725千円 消防緊急指令システム署所端末装置移設業務委託 2,100千円 全自動酸化エチレンガス滅菌器除去装置搭載型 3,129千円 庁用備品 1,805千円他	243
5. 二見出張所新設事業	3,266	消防署二見出張所庁舎移転新築のため、旧庁舎を解体した。 消防署旧二見出張所解体工事 3,266千円 S造平屋建 面積 174.15㎡	243

6. 消防署庁舎改修経費	21,199	消防本部（署）庁舎及び消防署西分署並びに消防署小俣分署の不良箇所の改修工事を施行した。 消防本部トイレ等改修工事 15,079千円 消防本部ボイラー改修工事 2,394千円 消防署西分署仮眠室個室化工事 2,373千円 消防署小俣分署玄関改修工事 1,245千円他	243
7. 消防団車庫建替事業	10,369	老朽化した消防団車庫を防災拠点として活用できるよう待機室を備えた車庫を新設した。 消防団中島分団車庫新築工事 7,392千円 木造平屋建 面積 46.4㎡ 防災倉庫解体工事 2,837千円他	243

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 78,885 千円  
決算額 70,225 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,309	5,681			59,235

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防災行政無線管理運用経費	19,436	住民への災害情報伝達手段として整備した防災行政無線の管理運用に努めた。 同報系 親局4、中継局3、子局185 移動系 基地局4、移動局143	245
2. 地域防災力向上支援事業	4,315	○モデル地区において、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、それらの情報を記載した地区の防災マップを作成した。 ○東海地震、東南海・南海地震をはじめとした大規模災害の発生に備え、当市の防災力の向上・強化を目指すための基礎的資料を得ることを目的とした「職員意識調査アンケート」を国立大学法人三重大と共同で実施し、当市の現状把握と分析を行った。	245
3. 総合防災訓練実施事業	4,120	東海地震、東南海地震を想定し、県・市・防災関係機関・ライフライン（電気・ガス・水道など）関係機関・地域住民・ボランティア団体などが連携した実践的な防災訓練を三重県との共催により実施した。	245
4. 災害時要援護者対策事業	728	高齢者、障害者などの災害時要援護者を対象に家具固定事業を実施した。 2回実施、計60世帯	245
5. 備蓄物資整備事業	4,129	○伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資の整備推進を図った。 ○衛星携帯電話を購入し、災害時における孤立地区対策を行った。	245
6. 一般木造住宅耐震診断事業	6,461	阪神・淡路大震災では昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。 診断件数 142件	245

7. 一般木造住宅耐震補強事業補助金	9,072	木造住宅耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。 補強工事10件 除却工事3件	245
8. 防災行政無線整備事業	1,575	合併調整時の懸案事項である防災行政無線の一元化を推進するために、基本計画策定のための基礎調査及び素案作成を行った。	245

### 小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防災行政無線管理運用経費	788	町内各自治会が地区遠隔装置を使用する際に発生する電話使用料のうち、基本料金に対して補助を行った。 2,350円×12月×27回線(26自治区) =761,400円	245

### 御菌総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. CATV緊急防災システム管理運営経費	804	御菌町地域は災害時の緊急連絡手段としてCATVを利用した情報システムを運用しているため、転入、転居者等のCATVへの加入、機器の設置を促進し、地域の防災情報連絡手段の整備を図り、加入金及び機器の設置費を負担金として支払い、また、加入者情報の台帳を電算システムで管理している。 負担金支出世帯 58世帯	245

### 消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自主防災隊資機材購入事業	993	吹上地区で新規結成された自主防災隊に対し、地域防災の強化を図るため防災資機材を交付した。 吹上自主防災隊	245
2. 自主防災隊補助事業	5,310	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治区が行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 2,100千円 70件 防災補助金 3,210千円 35件	245

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 575,058 千円  
 決算額 566,870 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,346	170		6,496	539,858

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	2,000	子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。 ○科学創作展 ・内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 ・開催日 : 平成20年9月13日(土)～14日(日) ・開催場所 : 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 195千円 ○教育美術展 ・内容 : 児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 ・開催日 : 平成20年11月29日(土)～30日(日) ・開催場所 : 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 300千円 ○音楽演劇発表会 ・内容 : 各中学校のクラブ員を中心とした生徒が日頃の音楽演劇活動をそれぞれ発表した。 ・委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 ・開催日 : 平成20年11月14日(金) ・開催場所 : 観光文化会館 ・委託料 : 1,505千円	247
2. スクールバス運行事業	7,976	三重交通㈱にスクールバス運行業務を委託し、横輪・矢持地区の児童生徒、また囑託員のスクールバス運転手を雇用し、高麗広地区の児童生徒の通学上の安全を確保した。	247
3. 学校教育支援事業	83,532	・学習支援員や教育支援ボランティアを配置し、特別支援学級や普通学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた学習指導や活動支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。 ・地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の警備を行い、幼児児童生徒の安全確保を図った。 ①学習支援員 53人 ②教育支援ボランティア 125人(登録) ③学校安全ボランティア 634人 ・生徒が悩み等を話せる身近な相談相手として、心の支援員を配置した。 小学校4校 4人 (1人は中学校1校を兼務) 中学校12校 12人 (1人は小学校1校を兼務)	247
4. 奨学金育英事業補助金	11,435	国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。 県外大学 : 37人 県内大学 : 19人 公立高校 : 52人 私立高校 : 22人 高専 : 3人	247

5. 私立学校等振興助成事業	90,439	<p>○私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金支給者数： 971人</li> <li>・補助金支給額： 76,047千円</li> </ul> <p>○私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金支給者数： 825人</li> <li>・補助金支給額： 4,125千円</li> </ul> <p>○幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金支給額： 10,267千円</li> </ul>	247
-------------------	--------	---	-----

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 142,939 千円  
決算額 136,029 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			47	135,982

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 教育相談事業	4,142	小・中学生の教育、不登校及びいじめ問題等に関する相談を行うことにより、不登校児童生徒の早期学校復帰、いじめの解消を図ることができた。 教育相談件数 188件 臨床心理士によるカウンセリング 189件	247
2. 不登校対策ハートケア事業	637	不登校児童生徒のための「教育支援センター」では、通級する児童生徒一人ひとりの自立に向け、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。 教育支援センターへの通級児童生徒数 34名 教育支援センターへの相談件数 1,568件 (電話1,044件、来所303件、訪問221件)	247
3. スクールアドバイザー事業	11,665	スクールアドバイザーによる学校への指導助言、情報提供により、各学校が抱えるいじめ等の問題の早期発見・対応、未然防止を図ることができた。 スクールアドバイザー件数 448件	247
4. 教育研究研修推進経費	2,803	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進め、市内小中学校の教育力向上に寄与した。 研究運営 課題研究プロジェクト 他5件 研修運営 夏期研修講座 他4件	249
5. 教育研究所運営経費	1,281	教育研究に関する情報の発信、教育資産（研究紀要、教育実践ビデオ等）のデータベース化に努め、教職員の資質、教育力向上に寄与した。	249
6. 教育支援センター沼木教室維持管理経費	891	教育支援センターへ通級する児童生徒が、自然豊かな沼木教室の環境で安全・安心に活動できるよう、施設の維持管理に努めた。	249

7. 小学校教育用コンピュータ管理経費	42,233	小学校教育用コンピュータの整備により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	249
8. 中学校教育用コンピュータ管理経費	24,661	中学校教育用コンピュータの整備により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	249
9. 緊急連絡メール配信経費	1,625	緊急情報を瞬時に多数の保護者等へ連絡するため、携帯電話等のメールを併用する緊急連絡メール配信システムの管理を行った。	249
10. 伊勢市教育用ネットワークシステム保守管理経費	14,471	市内小中学校教育用コンピュータの一括管理を行い、安全・安心にコンピュータを使用できるよう、ネットワークシステム、インターネットセキュリティーの保守に努めた。	249

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 58,162 千円  
決算額 56,459 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	750			55,709

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事業	569	○ 伊勢市人権講演会 林家 染三さんを講師として招き、平成20年12月7日にいせトピアで開催(約300人の参加)し、人権に対する正しい理解と認識を広めさせることができた。 ○ 第3回伊勢市人権教育をすすめる市民の集い 向野 幾世さん(奈良大学講師)を講師として招き、平成20年7月29日にいせトピアで開催(約317人の参加)し、同和問題の正しい理解と認識を広めさせることができた。 ○ 管理職(教頭)人権教育研修会 市内小・中学校での人権教育の取り組みをよりいっそう深めるため、管理職(教頭)を対象に平成20年9月4日に講演会、意見交換等の研修会を開催した。	249
2. 人権教育研究委託経費	1,000	人権・同和教育に関わる事業の充実を図るため、人権・同和教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託した。	249
3. 同和問題地域啓発推進事業	387	市内の3自治会を指定し、推進委員を委嘱して、6回の合同研修を開催した。その後、推進委員がリーダーとなって、各地域住民の同和問題への正しい理解を広めるため、啓発活動を行った。本年度は、二見町茶屋区、御薊町高向区、矢持町自治会の各自治会で実施した。	249
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	1,280	小学校区を単位として、人権・同和教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めた。 今年度、2小学校区(今一色、二見)を設立し、結成団体数17団体から19団体となった。	249

5. 人権教育研究推進 経費	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成20年度は、倉田山・厚生・港・沼木・五十鈴・二見中学校区を研究指定校に指定し実施した。	249
6. 子ども人権フォー ラム21開催事業	413	子ども達の人権学習や生活の場で学んだことをもとに体験等を発表し合い、お互いの思いや願いを受け止めあいながら人権問題に対する認識を深め、人権学習の充実を図ることを目的として実施した。	249
7. 人権課題別研修経 費	192	指導者となるべき教職員の資質向上のため、様々な人権課題に関する知識を習得し、その解決に向けた実践の充実をめざし研修会を実施した。	249
8. 人権・同和教育基 本方針推進プラン 事業	130	人権・同和教育基本方針をもとに、具体的な推進プランを策定し、周知する取り組みを進めた。	249

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 19,633 千円  
決算額 18,674 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				18,674

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教 育事業	751	人権問題に関する理解と認識を深めるため、子ども人権スクール、成人学習講座などを開き、市民に学習の場と機会を提供した。	251

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 463,756 千円  
決算額 446,490 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,444	4,030		198	433,818

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校備品購入経 費	7,634	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	251

2. 小学校整備事業	24,036	小学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・門扉改修工事（四郷小） 1,489千円 ・調理員室・業務員室空調機設置工事（修道小ほか） 2,441千円 ・屋内運動場屋根葺替工事（有緝小学校） 3,917千円 ・洋式トイレ設置工事（上野小ほか） 16,119千円 ほか	251
3. 小学校緊急地震速報システム整備事業	8,263	大地震の発生に備え、地震被害を未然に防ぐため、すべての小学校に緊急地震速報端末を設置し、児童の安全確保を図った。	251

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 64,138 千円  
 決算額 61,359 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,261	1,300			58,798

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	11,277	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校（伊勢市立小学校全校） ・整備額 10,389,253円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備（理科教育振興法に基づく）を国の補助を受け整備した。 ・整備校 8校（進修、早修、浜郷、神社、城田、二見、今一色、小俣小） ・整備額 887,985円	253
2. 学校図書館充実経費	6,058	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校（伊勢市立小学校全校）	253
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	33,639	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費・修学旅行費・学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 564人 （要保護 3人、準要保護 561人）	253
4. 遠距離児童通学費扶助事業	1,859	遠距離通学を行っている児童の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：中島小学校、佐八小学校、二見小学校	253
5. 修学旅行経費助成事業	2,332	小学校修学旅行の児童支払い分の10%（上限あり）を補助し、児童の見聞を広める教育活動の支援と保護者負担の軽減を図った。	253
6. 問題を抱える子ども等の自立支援事業	600	倉田山中学校区を単位として、その学校が抱える課題について、未然防止、早期発見、早期対応につながる効果的な取組を行うために、学級集団づくりのあり方、子どもの状況把握のあり方等について調査研究を行った。	253

7. 小学校英語活動等 国際理解活動推進 事業	700	厚生小学校を拠点校として、小学校における英語活動の指導方法、ALTや地域人材の効果的な活用の仕方等についての研究を行った。	253
8. 独創的な教育活動 推進事業	1,992	小学校7校において、児童一人ひとりの個性を伸ばし、いきいきとした学習活動を行うため、各校の実態にあった創造的な教育活動を推進した。	253

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 3. 小学校建設費

(単位 千円)

予算現額 110,838 千円  
決算額 93,145 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
42,624		46,500	565	3,456

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 四郷小学校特別教室棟改築事業	59,584	特別教室棟は築後47年を経過して老朽化が進み、耐力度調査においても「危険建物」となったため、安全な学習環境を整備するため改築を行った。	253
2. 小学校耐震補強事業	33,561	安全安心な学校づくりのため耐震補強工事を実施した。 進修小学校(校舎)	255

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 263,251 千円  
決算額 253,959 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,504			35	249,420

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校備品購入経費	6,177	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	255
2. 中学校整備事業	19,268	中学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・駐輪場設置工事(倉田山中) 3,957千円 ・洋式トイレ設置工事(北浜中ほか) 6,383千円 ・屋内運動場照明設備改修工事(厚生中ほか) 3,822千円 ・渡り廊下テラス設置工事(倉田山中) 914千円 ・下水道接続工事(港中) 403千円 ・浄化槽清掃業務委託(港中) 3,728千円 ほか	255

3. 中学校緊急地震速報システム整備事業	4,272	大地震の発生に備え、地震被害を未然に防ぐため、すべての中学校に緊急地震速報端末を設置し、生徒の安全確保を図った。	255
-------------------------	-------	--	-----

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 92,409 千円  
決算額 88,985 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
947	2,020			86,018

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	8,957	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校) ・整備額 7,977,712円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 4校(五十鈴、沼木、二見、御菌中) ・整備額 692,685円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに適応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 3校(厚生、五十鈴、小俣中) ・整備額 286,660円	257
2. 学校図書館充実経費	4,796	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校)	257
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	27,281	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 354人 (要保護 10人、準要保護 344人)	257
4. 修学旅行経費助成事業	5,530	中学校修学旅行の生徒支払い分の10%(上限あり)を補助し、生徒の見聞を広める教育活動の支援と保護者負担の軽減を図った。	257
5. ALT活動事業	36,100	英語を母国語とする青年を招致し、中学校の英語科教員とともに英語指導にあたり生徒の語学力の向上に努めた。小学校での英語活動や幼稚園、地域住民との交流を通して伊勢市の国際理解教育促進に努めた。 JETプログラムALT:3人 民間派遣ALT:6人	257
6. 自分発見!中学生・地域ふれあい事業	1,640	中学校2年生を対象として、学校、家庭、地域社会が一体となって地域ぐるみで職場体験活動を組織し「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。市内全中学校で3日間の職場体験学習を実施した。	257

7. 学校・保護者コミュニケーション事業	400	学校・家庭・地域・関係機関等が一体となって生徒とともに総合的な取り組みを行い、コミュニケーションを通じて生徒の規範意識や倫理観、道徳観を育成していく取り組みを厚生中学校と港中学校で実施した。	257
8. 問題を抱える子ども等の自立支援事業	550	倉田山中学校区を単位として、その学校が抱える課題について、未然防止、早期発見、早期対応につながる効果的な取組を行うために、学級集団づくりのあり方、子どもの状況の把握のあり方等について調査研究を行った。	257
9. 独創的な教育活動推進事業	1,492	中学校4校において、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、いきいきとした学習活動を行うため、各校の実態にあった創造的な教育活動を推進した。	257

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 198,863 千円  
決算額 156,212 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
39,419		94,400	962	21,431

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 厚生中学校校舎改築事業	3,188	安全安心な学校づくりのため、平成20年から平成22年の3か年で校舎改築事業を計画した。 平成20年度については地質調査及び設計業務等を行った。	257
2. 五十鈴中学校校舎改築事業	21,364	安全安心な学校づくりのため、平成20年から平成22年の3か年で校舎改築事業を計画した。 平成20年度については地質調査、設計業務及びプールの解体工事等を行った。	257
3. 城田中学校特別教室棟改築事業	93,927	クラス数の増加に伴う教室不足の解消、及び中学校給食を行っていた給食調理室を受入室に改修する必要が生じたことから、木造の特別教室棟を解体し、改築工事を実施した。	257
4. 中学校耐震補強事業	37,733	安全安心な学校づくりのため耐震補強工事を実施した。 宮川中学校(校舎・屋内運動場)	257

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 183,883 千円  
 決算額 175,982 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
563			19,215	156,204

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 幼稚園整備事業	704	伊勢市内の幼稚園施設及び学習環境の一層の充実を図った。 南側テラス設置工事(北浜幼) 232千円 外壁塗替え補修工事(北浜幼) 472千円	259
2. 幼稚園備品購入経費	726	幼稚園管理、事務処理など幼稚園運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、幼稚園環境の充実を図った。	259

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 91,385 千円  
 決算額 91,096 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				91,096

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	4,267	1. 社会教育の充実 ①社会教育委員兼公民館運営審議会委員 市の社会教育の推進を図り、社会教育に関する諸事業に対して協議した。 ②伊勢市・飯田市婦人会交流事業 両市の友好親善を深めるとともに、婦人会活動の充実と明るいまちづくり活動を全市的に推進するための相互研修として交流会を実施した。 ③家庭教育相談室「スマイルいせ」設置事業 家庭教育相談員(1名)を配置し、子育てに関する悩みや相談に応じた。 また、保育所、幼稚園を巡回しての家庭教育学級をはじめ、子育て中の親子が集い交流する事業を通じて、家庭教育の推進に努めた。 【相談件数】 61件(電話19件、面接42件) 【家庭教育学級】 12幼稚園保育園で実施 【親子リフレッシュコーナー】 23回開催 (延1,891名の参加) 2. 各種社会教育関係団体の活動支援 地域での社会教育活動を支援するため、親子会など地域で活動する団体に補助金を交付し活動の支援を行った。 ・二見町子ども会育成会連絡協議会 ・御菌小学校PTA ・御菌中学校PTA ・御菌町親子会連絡協議会	261

2. 婦人学級開設事業	996	修道、有緝、明倫、厚生、中島、早修、神久、一色婦人会が開催する婦人学級活動に対する支援を行った。 開講数 541回 延参加者数 5,989名	261
----------------	-----	--	-----

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位 千円)

予算現額 21,842 千円  
決算額 20,806 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			814	19,992

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公民館補助金	2,556	地域において指定管理している御薊町内の市立公民館の修繕及び備品整備に係る経費の一部(2/3)を補助した。 また、市内自治会が住民の交流の場として設置する地区公民館の建設にかかる費用の一部を補助した。 前山町公民館(鉄骨造平屋建て)	261

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 43,800 千円  
決算額 41,467 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,525	305		1,545	38,092

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 文化講演会開催事業	800	積極的にプロの高度な文化芸術や学術に触れることができるよう、9月に金田一秀穂先生を招き、文化講演会「世界一受けたい授業～おもしろ日本語～」を開催(参加者数392人)し、文化芸術の継承及び充実、学術向上を図った。	263
2. 市民芸能祭開催事業	1,400	第52回芸能祭は、平成20年10月25日・11月1日・2日・9日・16日・23日(2会場)の延べ6日間で、総合部門、邦楽・吟詠剣詩舞、バレエ・モダンダンス、日舞・民踊、合唱、フォークダンス、能楽の8部門を開催し、70団体約1,710人が出演、約3,060人が鑑賞した。	263
3. 美術展覧会開催事業	1,340	第55回美術展覧会を平成20年10月28日～11月3日までの7日間にわたり開催。作品の多様化を促すため、部門の統廃合を進め、全5部門で開催した。美術に対する理解を深めるため、会期中に三重県立美術館友の会との共催で美術セミナーを開催した。 出品点数 349点 観覧者数 約2,314人	263

4. 文化財保存整備事業補助金	2,612	<p>市内に所在する指定文化財等の適正な保存管理を図り、文化財保護の充実に資することを目的とするものである。</p> <p>【平成20年度対象事業及び市補助金決算額】</p> <p>○重文 木造諸尊仏龕 美術工芸品保存修理 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業者 宗教法人 寂照寺</li> <li>・決算額 339千円</li> </ul> <p>○経蔵 部分修理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業者 宗教法人 寂照寺</li> <li>・決算額 2,185千円</li> </ul> <p>○市指定天然記念物・境楠周辺環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業者 楠奉賛会</li> <li>・決算額 88千円</li> </ul>	263
5. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,958	<p>伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。</p> <p>【交付先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬瀬狂言保存会他23団体</li> </ul>	263
6. 一色の翁舞記録作成（映像記録）経費	3,295	<p>平成19年度に完了した文書記録を補完するための記録事業である。国・県の補助を得て19・20年度の2ヶ年で実施した。</p> <p>【平成20年度事業内容】</p> <p>国の選択無形民俗文化財に選択されている「一色の翁舞」の伝承・普及のための記録調査を行い、成果品として記録映像作品（DVD4種）を作成した。</p>	263
7. 二見浦保存管理計画策定経費	163	<p>平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、適切な保存管理を行うため、その基準となる保存管理計画を策定するものである。平成20年度は、関係分野の専門家及び土地所有者等による名勝二見浦保存管理計画策定委員会を1回開催した。</p>	263
8. 特別展等開催事業	403	<p>第20回特別展として、郷土資料館において「二見・安養寺跡と西行」（平成21年2月28日～4月5日）を開催し、353人の観覧があった。</p>	263
9. 尾崎罌堂顕彰事業	176	<p>第7回企画展として「罌堂・反戦への思い」（平成20年7月5日～10月5日）を尾崎罌堂記念館において開催し、437人の観覧があった。</p> <p>また、第8回企画展として「罌堂をめぐる50人～95年の生涯 その人間模様～」（平成21年2月1日～5月31日）を同館において開催し、817人の観覧があった。</p> <p>なお、来館者の調査・研究の一助のため、展示用の軸（二行詩：尾崎罌堂3点、画：伊藤響浦1点）等を購入した。</p>	263
10. 山田奉行所記念館特別展開催事業	400	<p>山田奉行所記念館の設置目的を達成するため、山田奉行所に関する特別展示を開催し、常設展示を補完した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季特別展 : 「伝統美：小笠原流弓馬術の姿」</li> <li>・冬季特別展行事 : 「大的式」</li> <li>・冬季特別展 : 「第七代奉行 花房志摩守とこの地」</li> </ul>	263

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 9,316 千円  
 決算額 8,961 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,961

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 青少年健全育成推進事業	1,700	1. 全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、横断幕や懸垂幕を掲示し、啓発を行った。 2. 青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、地域指導者の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。 ○伊勢市青少年育成市民会議本部 260,000円 ○中学校区青少年健全育成協議会 1,440,000円	頁 265
2. 飯田市交流会実施事業	1,203	山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小学生が児童会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。 平成20年度より夏季の隔年訪問交流とし、今年度は伊勢市児童代表が飯田市を訪問した。 ○平成20年8月3～4日、伊勢市の小学生36人と飯田市の小学生28人が、ラフティングや水引細工などの郷土芸能体験等を行うことにより交流を深めた。	265
3. 成人式開催事業	1,525	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日になみ、平成21年1月11日、三重県営サンアリーナにて、「新成人のつどい」を開催した。 新成人代表27人からなる実行委員会において、企画運営を行い、思い出の写真上映や実行委員作成の記念冊子を配布した。また、式典後にアトラクションを計画し、地元企業に協賛を募り、記念ライブを開催した。 成人者数 男792人 女727人 計1,519人 出席者数 男602人 女608人 計1,210人	265

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 186,588 千円  
 決算額 185,252 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,500		1,417	169,335

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 図書整備経費	26,176	閲覧用図書、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料を購入し、図書資料をより一層充実させ、図書利用の促進を図った。 購入図書資料 伊勢図書館 7,900冊 小俣図書館 5,268冊 購入視聴覚資料 伊勢図書館 26点 小俣図書館 98点 伊勢図書館 15,019千円 小俣図書館 11,157千円	頁 265
2. ブックスタート支援事業	1,834	子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入ったブックスタートパックを配付した。 配付数 999人	265
3. 図書館運営経費	116,473	1. 伊勢市立伊勢図書館 平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入している。(H18.4.1~H21.3.31) 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種図書館行事を開催するなど、市民の図書館利用促進に取り組んだ。 2. 伊勢市立小俣図書館 小俣図書館を市民が快適に利用できるよう、運営を行った。	265

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 14,165 千円  
 決算額 12,965 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	52			12,913

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習推進事業	10,816	1. 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、年間講座として各種教室を実施した。 (小俣公民館講座) 全18講座 受講者数259名 (二見公民館) 全16講座 受講者数251名 (御菌公民館) 全12講座 受講者数160名 2. 団体への助成 小俣、二見、御菌地域において、サークル活動や文化祭等生涯学習事業に取り組む3文化協会の活動を補助し、地域における文化活動を支援した。	267
2. 放課後子どもプラン推進事業	78	放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会と福祉部局のそれぞれが実施している事業の連携を図るため、「伊勢市放課後子どもプラン運営委員会」を設立し、今後の子どもたちの安全で安心して過ごせる居場所づくりについて話しあった。 ・伊勢市放課後子どもプラン運営委員会委員 13名	267

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 83,276 千円  
 決算額 83,276 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,327	81,949

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習センター施設維持管理経費	83,276	1. 伊勢市生涯学習センター(いせトピア) 平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入している。 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んだ。 2. 二見生涯学習センター 生涯学習センターを市民が快適に利用できるよう、修繕等維持管理を行った。	267

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 8. 学習等供用施設費

(単位 千円)

予算現額 10,689 千円  
 決算額 10,085 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
771			972	8,342

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 学習等供用施設維持管理経費	10,085	施設を市民が安心し、快適に利用できるよう維持管理に努めた。 また、避難所として指定されている施設のうち、耐震診断未実施の施設について耐震診断を行った。 ・村松町民会館 ・柏町民会館 ・東豊浜町土路区町民会館 ・西豊浜町上区町民会館	頁 269

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 69,907 千円  
 決算額 69,394 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,205	62,189

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地域の文化・芸術活動支援事業	5,906	観光文化会館指定管理者が実施した市民参画型の自主事業で財団法人地域創造の補助を受けるため、市が間接的に助成を行った。	頁 269

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 80,444 千円  
 決算額 79,898 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,190	65,708

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 児童生徒保健管理事業	76,402	学校保健法に基づく健康診断として、児童生徒及び園児に対し、校医による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、児童生徒の健康管理に努めた。	頁 271
2. 教職員健康管理事業	2,684	県費負担教職員に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	271

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 1,439,373 千円  
 決算額 1,425,369 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
225,855	38,000	626,300	17,829	517,385

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 学校給食管理経費	115,299	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、調理室等の衛生面に重点をおき、給食備品を修理、購入して設備の充実に努めた。給食関係者の検便、給食室の環境衛生検査等を実施することにより、食中毒の防止に努めた。	頁 273
2. 学校給食施設維持管理経費	3,993	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の清掃及び機械類の保守点検を実施した。 ・清掃業務委託、エレベーター等機械保守点検業務委託ほか	273
3. 給食施設整備経費	5,235	学校給食備品のうち老朽化しているものについて、耐用年数及び機能を調査したうえで計画的に購入し設備の充実に努めた。 ・諸機器を購入（浜郷小他2校） ・ボイラー撤去及び給湯器設置工事（小俣小） ・牛乳保冷庫の購入（倉田山中・港中）	273
4. 学校給食衛生管理強化経費	5,828	調理士の健康及び安全衛生上の問題を改善するため、空調設備を設置した。 上野小、大湊小、神社小	273
5. 中学校給食施設建設事業	942,801	市内中学校完全給食実施に向け、中学校給食共同調理場の建設を実施した。 (概要) 鉄骨造平屋建 1,925.33㎡ 事業期間 平成19年度～平成20年度 調理食数 一日約3,000食	273
6. 中学校給食共同調理場管理経費	62,172	中学校給食共同調理場において、中学校給食の実施に努めた。 ・実施中学校数 9校	273
7. 食育推進会議経費	198	国が制定した食育基本法を受け、伊勢市食育推進検討委員会等を設置し、伊勢市食育推進計画を策定した。 ・伊勢市食育推進検討委員会等の開催	273

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 70,512 千円  
 決算額 67,608 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			6,379	61,229

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 体育指導事業	3,766	教育委員会から委嘱を受けた体育指導委員が、地域における生涯スポーツの普及や市主催事業への協力を行った。 委員数：64名	273
2. 生涯スポーツ行事開催事業	7,888	体育祭を筆頭に、ソフトボール、バレーボール、マラソン、ウォーキング、ハイキング、カローリング等様々なスポーツ大会や教室を開催し、地域住民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図った。 いせスポーツ・レクリエーションフェスティバル2008においては約5,000名が、また、小俣町民体育祭においては約4,000名が参加した。	273
3. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	5,800	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。 なお、平成20年度においては、いすずウキウキクラブ、厚生総合型スポーツクラブ、北浜はつらつスポーツクラブ、きだっこクラブ、おばたスポレククラブA S R E C、みそのスポレククラブの6団体があり、会員数が総数約2,500人となった。 また、平成20年11月22日(土)には、初めて市内全ての総合型地域スポーツクラブが参加する交流会を開催し、各クラブ間の交流を図った。 開催事業名：みんなで登ろう朝熊岳 開催内容：登山、俳句大会、散策、宝探し、ゲーム大会等 参加者数：参加者数363人	273
4. B&G海洋センター事業	285	海洋性スポーツを通して、子供たちに水に触れる機会の提供と、心身の健康保持を図った。 また、B&G財団並びに近隣海洋センターとの情報交換、情報共有を図った。	273
5. 小学校体育活動推進事業	2,031	市内小学校の陸上記録会を開催した。また、全国大会に参加する選手と引率者の旅費を支給した。	275
6. 中学校体育活動推進事業	18,302	市内中学校の体育大会を開催した。また、全国大会、東海大会等に参加する選手と引率者の旅費を支給した。	275

7. 全国大会等参加 励事業	6,523	県内予選を勝ち抜いて、伊勢市を代表して、全国大会に参加する選手の旅費を一部負担した。また、北京オリンピックに出場する野口みずき選手（陸上競技）及び水本裕貴選手（サッカー）に激励金を支給するとともに、野口みずき選手を応援する集い実行委員会及び水本裕貴選手を応援する会に負担金を支給し、市と連携してオリンピックの盛り上げと、当日の応援イベントを行った。なお、野口みずき選手については、大会を欠場したため、応援イベントを中止した。	275
8. ジュニア育成事業	935	子どもたちの運動離れ、体力低下に歯止めをかけるため、スポーツ少年団、体育協会にジュニア育成のための、スポーツ大会や教室の開催を委託した。	275
9. 集客誘致大会開催 事業負担金	13,627	集客交流事業として、全国規模の大会を誘致し開催した。伊勢市への経済波及効果と伊勢市総合計画で掲げた「交流で創るまちづくり」を達成することができた。 お伊勢さん健康マラソン大会（4,769人）、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会（883人）、全日本ジュニア体重別相撲選手権大会（150人）、選抜社会人野球大会（500人）、神宮奉納全日本ソフトテニス大会（236人）の5大会を開催した。	275

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予 算 現 額 124,454 千円  
決 算 額 115,244 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,870		12,100	24,110	77,164

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 集客体育施設管理 運営経費	24,973	高校野球夏季大会、選抜社会人野球大会などの各種野球大会及び神宮奉納全日本ソフトテニス大会、都道府県対抗中学生ソフトテニス大会などの各種テニス大会の円滑な運営と、一般利用者が快適にプレーできるよう、専門業者へ委託等をし、年間を通じて管理した。 (倉田山公園野球場、市営庭球場)	275
2. 一般体育施設管理 運営経費	65,960	伊勢市民の快適なスポーツライフのため、各種スポーツ施設を年間を通して適正な状態に保つよう維持管理した。 各種スポーツ施設としては、五十鈴公園野球広場・多目的広場・球技広場、宮川スポーツグラウンド、市民武道館、北浜スポーツグラウンド、あさま市民プール、二見体育館、二見グラウンド、二見テニスコート、二見スポーツ公園、ミーティングセンター、小俣総合体育館、大仏山公園スポーツセンター、小俣児童体育館、朝熊山麓公園フットボール場、朝熊山麓公園ソフトボール場、宮川堤公園スポーツグラウンド。	275
3. 体育施設整備事業	24,311	①二見体育館の耐震補強工事を行った。 ②倉田山公園野球場のダッグアウト前に、選手の安全を確保するための防護フェンスを設置した。 ③市営庭球場及び二見テニスコートの砂入り人工芝の老朽化に伴い、コート内及び部分張替を行った。	275

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 50,211 千円  
 決算額 33,122 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,520		10,891	5,265	3,446

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 河川災害復旧事業	33,122	<p>平成19年7月14日から15日の台風4号、平成19年9月1日から2日の豪雨、平成19年9月11日から15日の豪雨、平成20年4月17日から18日の豪雨、平成20年9月18日から19日の台風13号、そして平成21年1月30日から31日の豪雨により被災した箇所を復旧を行ない、施設の機能回復を図った。</p> <p>(概要)                      河川災害復旧工事                      【補助分】                      ①現年分 5件 L=56.7m                          一字田川右岸                          一字田川右岸(その2)                          一字田川右岸応急復旧                          亀谷郡川右岸応急復旧                          外城田川右岸                      ②平成19年度からの繰越 1件 L=9.6m                          五十鈴川右岸                      ③平成21年度への繰越 5件 L=66.8m                          亀谷郡川左岸                          箕曲瀬川左岸                          五十鈴川右岸(その1)                          五十鈴川右岸(その2)                          五十鈴川右岸(その3)                      【単独分】                      ①現年分 1件 L=7.8m                          大倉川左岸応急復旧                      ②平成19年度からの繰越 1件 L=12.0m                          又作川右岸                      ③平成21年度への繰越 1件 L=29.0m                          朝川左岸</p>	頁 279

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,492,898 千円  
 決算額 4,492,897 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			36,709	4,456,188

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,456,280	通常償還に加え、公的資金補償金免除繰上償還の承認を得た起債の繰上償還を行った。 このことにより、次年度以降の償還にかかる利子の削減を行った。 利子軽減額 15,563,345円  償還額合計 4,456,280,030円 通常償還額 4,258,846,551円 繰上償還額 197,433,479円	281

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	36,617	過去に三重県より市が借入した福祉資金貸付金原資及び災害援護資金県貸付金について、それぞれ県に償還した。 (施策の概要) ①福祉資金貸付金原資 … 35,725,000円 返還計画に基づき、平成20年度において過去の4年分(S55~S58)の県貸付金原資を一括償還した。  ②災害援護資金県貸付金 … 891,518円 ・平成20年度上半期償還額 … 795,759円 ・平成20年度下半期償還額 … 95,759円 県貸付要綱に基づき、上記のとおり災害援護資金貸付金の償還を行った。	281

## 【国民健康保険特別会計】

### (款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,047,819 千円  
 決算額 7,047,817 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,624,448	251,341		1,133,787	4,038,241

#### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,047,817	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 491,369件 (2) 年度平均被保険者数 34,789人	303

### (款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 767,584 千円  
 決算額 753,020 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			631,057	121,963

#### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	753,020	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 55,691件 (2) 年度平均被保険者数 2,083人	303

### (款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 67,907 千円  
 決算額 65,046 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,713	1,986			49,347

#### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	65,046	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 8,012件	303

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 8,978 千円  
 決算額 8,912 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,469	1,443

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 退職被保険者等療養費	8,912	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 1,089件	頁 303

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 51,310 千円  
 決算額 46,250 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				46,250

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 出産育児一時金	46,250	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 130件	頁 305

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 11,600 千円  
 決算額 11,150 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				11,150

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 葬祭費	11,150	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 223件	頁 305

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 111,676 千円  
 決算額 109,894 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,636	15,636			78,622

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査等事業費	109,894	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 11,397件	309

## 【老人保健医療特別会計】

(款) 2. 医療諸費 (項) 1. 医療諸費 (目) 1. 医療給付費

(単位 千円)

予算現額 969,471 千円  
決算額 950,883 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
284,552	70,038		482,423	113,870

### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市負担額 (医療給付費)	950,883	老人保健法の改正により、平成20年4月より後期高齢者医療制度が施行されている。改正前の平成20年3月31日までの診療分について医療給付を行なった。 (1) 給付件数 37,092件	321

(款) 2. 医療諸費 (項) 1. 医療諸費 (目) 2. 医療費支給費

(単位 千円)

予算現額 47,968 千円  
決算額 46,040 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,777	3,391		23,358	5,514

### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市負担額 (医療費支給費)	46,040	老人保健法の改正により、平成20年4月より後期高齢者医療制度が施行されている。改正前の平成20年3月31日までの診療分について医療費の支給を行なった。 (1) 支給件数 16,374件	321

## 【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 1,956,075 千円  
 決算額 1,900,146 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,900,146

### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	1,900,146	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 867,512千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 182,653千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 10,721千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 55,722千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 783,538千円	頁 331

# 【介護保険特別会計】

## ○保険事業勘定

### (款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 4,664 千円  
決算額 4,508 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,508

### 介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 介護保険事業計画策定事業	3,733	「伊勢市老人福祉計画・介護保険事業計画」策定に係るコンサル委託、パブリックコメントの実施、計画書の印刷を行った。	頁 345

### (款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

#### (目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 8,405,425 千円  
決算額 8,252,088 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,921,151	1,204,957		2,554,551	2,571,429

### 介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 居宅介護サービス給付費負担金	3,665,666	要介護被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 73,140件	頁 347
2. 地域密着型介護サービス給付費負担金	638,282	要介護被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 3,424件	347
3. 施設介護サービス給付費負担金	2,831,043	要介護被保険者が受けた施設サービス等に対する保険給付費 支給件数 12,139件	347
4. 居宅介護福祉用具購入費負担金	12,864	要介護被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 506件	347
5. 居宅介護住宅改修費負担金	45,441	要介護被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 421件	347
6. 居宅介護サービス計画給付費負担金	368,469	要介護被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計画作成に対する保険給付費 支給件数 31,916件	349

7. 介護予防サービス 給付費負担金	178,854	要支援被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給 付費 支給件数 6,820件	349
8. 地域密着型介護予 防サービス給付費	528	要支援被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する 保険給付費 支給件数 9件	349
9. 介護予防福祉用具 購入費負担金	1,748	要支援被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給 付費 支給件数 98件	349
10. 介護予防住宅改修 費負担金	14,371	要支援被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 125件	349
11. 介護予防サービス 計画費負担金	22,199	要支援被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計 画作成に対する保険給付費 支給件数 5,403件	349
12. 高額介護サービス 費負担金	122,305	要介護被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額 を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 13,568件	349
13. 高額介護予防サー ビス費負担金	39	要支援被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額 を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 55件	349
14. 特定入所者介護 サービス費負担金	350,244	低所得の要介護被保険者が居宅サービス（短期入所に限 る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費 等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 10,937件	349
15. 特定入所者介護予 防サービス費負担 金	35	低所得の要支援被保険者が居宅サービス（短期入所に限 る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費 等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 10件	349

(款) 4. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予 算 現 額 74,338 千円  
決 算 額 73,736 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
26,891	13,445		33,345	55

健 康 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 特定高齢者把握事 業	69,785	65歳以上の市民を対象に要支援、要介護状態に移行す ることを予防するために生活機能評価を実施し、特定高齢 者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）の早期把 握に努めた。12,336人が受診し539人の特定高齢 者が把握できた。	349

2. 運動器機能向上事業	548	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に転倒骨折予防教室を開催した。筋力トレーニングや体操等を行い、転びにくい体づくりに取り組んだ。 延べ71回、152人の参加を得て要介護状態になることを予防した。	349
3. 栄養改善事業	17	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に栄養改善教室を実施した。低栄養状態を改善するための食べ方や食事作りなどの個別相談を行った。 延べ2回、2人の相談指導を行った。	349
4. 口腔機能向上事業	149	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に口腔訓練教室を実施した。口の健康を保つための相談や嚥下機能が向上する訓練などを集団指導や個別の相談で行った。 延べ25回、29人の相談指導を行い、口腔機能の向上を図った。	349
5. 認知症予防事業	1,037	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に脳活性化教室を実施した。脳機能検査により脳の働き具合を把握し脳を刺激する生活改善リハビリや音楽療法などを行い認知症予防に努めた。 延べ51回、94人の参加があり、参加者の脳機能の改善・維持がみられるなど、要介護状態になることを予防した。	349
6. 訪問型介護予防事業	27	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められるが、通所が困難な市民を対象に訪問指導を実施した。保健師や歯科衛生士などが延べ19回、33人に相談指導を行った。	351
7. 介護予防普及啓発事業	2,103	65歳以上の高齢者を対象に、中央保健センター及び地域において介護予防講座、すこやか教室（老人クラブ）、通所型介護予防事業、訪問指導などを実施し、延べ245回、3,564人に要介護状態になることを予防するための様々な知識の普及啓発を行い、介護予防の推進に努めた。	351
8. 地域介護予防活動支援事業	70	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されるよう認知症予防や転倒骨折予防を目的とした自発的な活動の育成・支援を行った。 延べ264回、3,747人が活動を行い、その内の延べ64回、977人に支援を行い、活動が継続された。	351

## (款) 4. 地域支援事業費

## (項) 1. 地域支援事業費

## (目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 97,300 千円  
 決算額 94,023 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
41,553	20,766		10	31,694

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	16,112	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等(施設入所者を除く)に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 クーポン券配布者数 370人	351

長寿課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	105	要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者(特定高齢者)に対して、保健師が家庭訪問等を通じて、介護予防事業の参加勧奨を行い、必要な対象者にケアプラン作成を行った。	351
2. 総合相談事業・権利擁護事業	4,925	高齢者の生活を福祉、介護など総合的に支えるため、高齢者本人及び家族からの相談に対して、さまざまな制度や社会資源の紹介や支援を行った。また、高齢者虐待、成年後見制度等の啓発を行った。	351
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	6,619	包括的・継続的なケアマネジメントが行えるよう、関係機関との関係づくりに努めるとともに、地域の介護支援専門員への助言・支援及び資質向上研修への協力を行った。	351
4. 地域包括支援センター運営事業	17,300	地域包括支援センターを一箇所増設し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	351
5. 食の自立支援事業	5,784	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で買い物と調理が困難な者に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防・生活支援を行い、高齢者への福祉の増進を図った。	351
6. 高齢者住宅等安心確保事業	9,859	高齢者世話付住宅等に入居する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、安否確認、一時的家事援助等のサービスを提供することにより、入居高齢者が自立して安全かつ快適な在宅生活を営むことができるよう支援した。	351
7. 生活管理指導事業	197	基本的な生活習慣が欠如している等、社会適応能力が困難な高齢者等に対して日常生活に対する指導・支援を行い、基本的な生活習慣を身に付けさせることにより、要介護状態への進行の予防を図った。	351

○介護サービス事業勘定

(款) 1. 事業費

(項) 1. 介護予防サービス事業費

(目) 1. 介護予防サービス事業費

(単位 千円)

予算現額 37,026 千円  
 決算額 35,803 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			17,116	18,687

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防サービス 計画作成事業	12,033	介護認定審査会において、要支援1または要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、要支援状態の改善や重症化予防を行った。	359